

バンクオブアメリカ・メリルリンチ ジャパンコンファレンス 2012

LEAD THE VALUE

# 株主価値の更なる向上に向けて

2012年9月5日

株式会社三井住友フィナンシャルグループ  
取締役社長 宮田 孝一

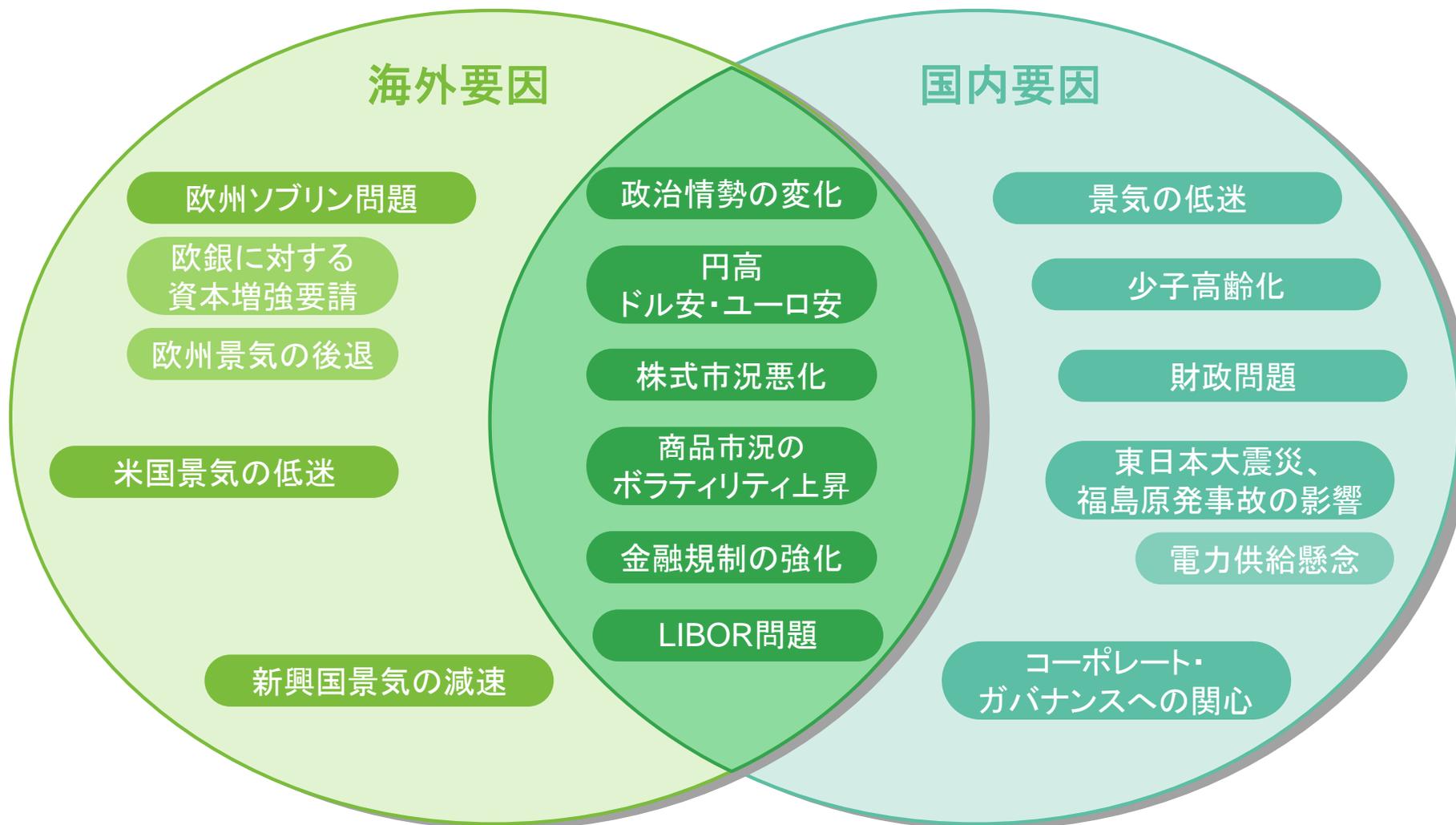
## ■ 本日のアジェンダ

---

1. 金融機関を取り巻くリスクファクター
  2. 当社の強みと課題
  3. 成長戦略
    - (1) グローバル展開
    - (2) 銀証連携
    - (3) コンシューマーファイナンス事業
- おわりに

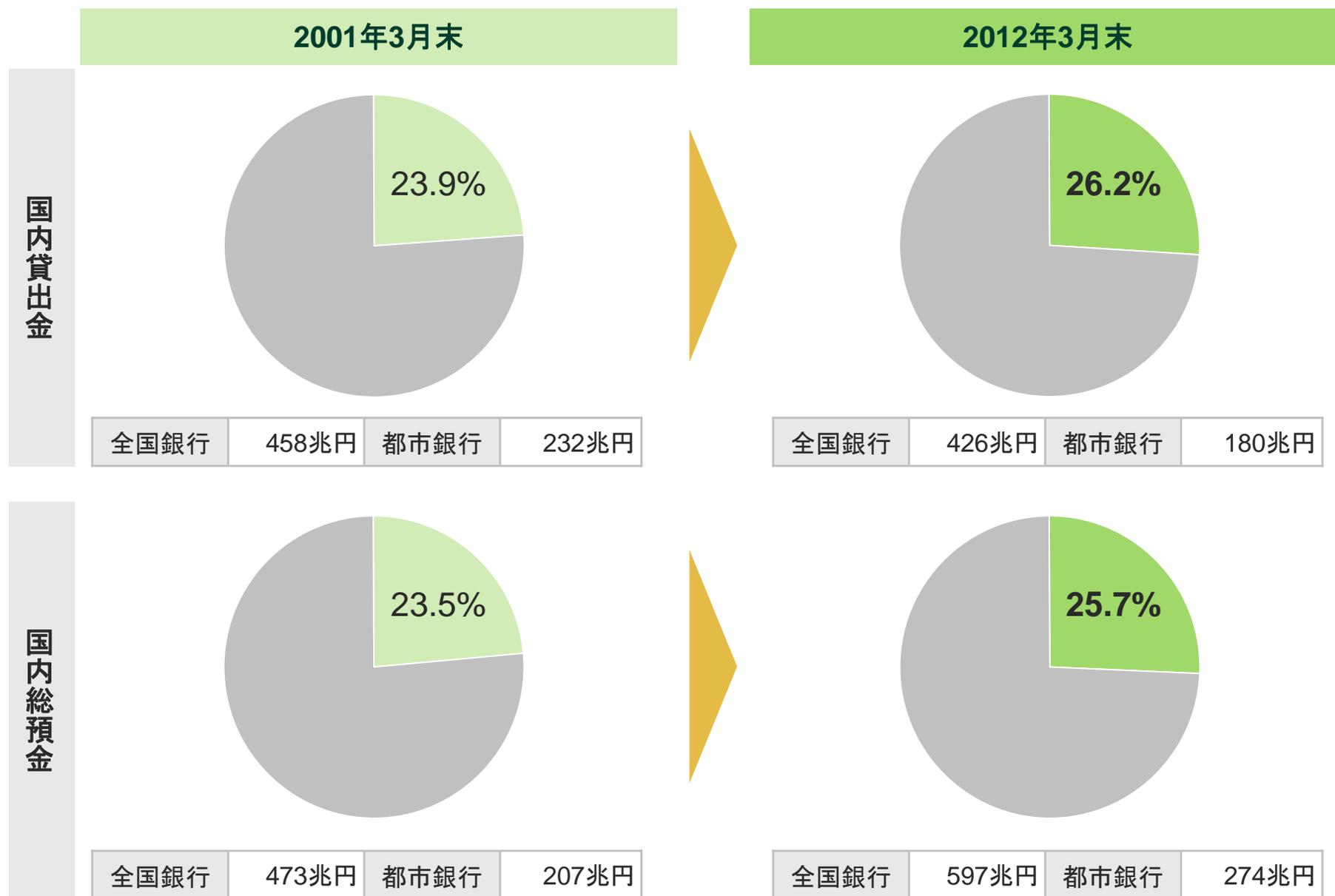


# 1. 金融機関経営を取り巻くリスクファクター



## 2. 当社の強みと課題

### ■ 強固な顧客基盤：都市銀行におけるSMBCの貸出金及び預金シェア\*



\* 出所：全国銀行協会「全国銀行預金貸出金速報」。都市銀行の預貸金残高は、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、みずほコーポレート銀行、りそな銀行、埼玉りそな銀行の合計

## 2. 当社の強みと課題

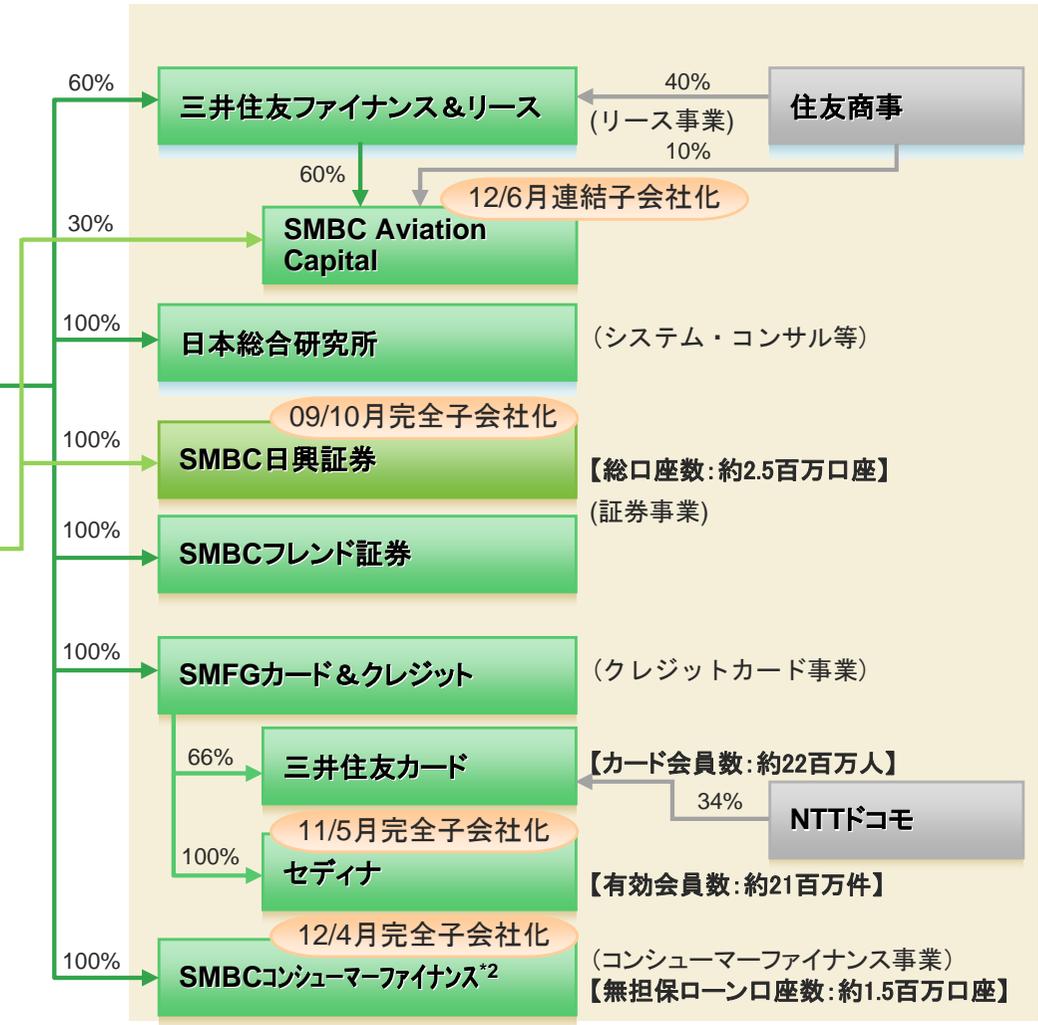
### ■ 強固な顧客基盤: グループ概要\*1



三井住友フィナンシャルグループ	
連結総資産	143兆円
連結Tier I比率	12.28%



三井住友銀行	
総資産	119兆円
預金	76兆円
貸出金	56兆円
個人口座数	約27百万口座
法人貸出先数	約11.0万社

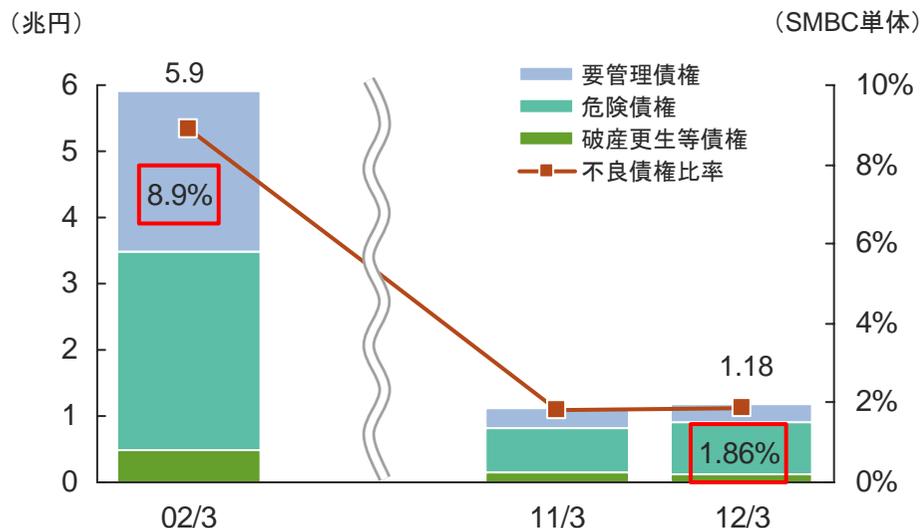


\*1 議決権比率は12年6月末現在、その他の各種計数は12年3月末現在 \*2 7月1日付でプロミスからSMBCコンシューマーファイナンスへ社名変更

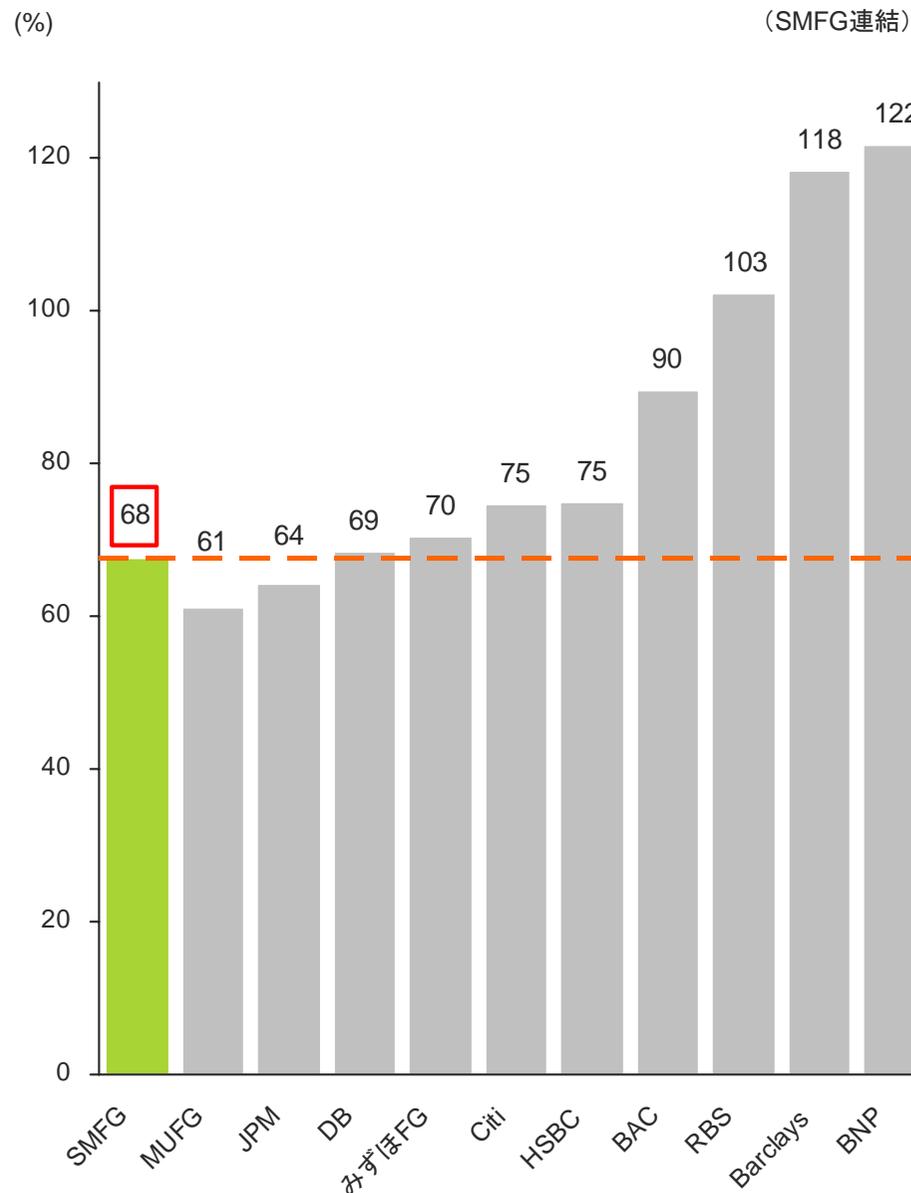
## 2. 当社の強みと課題

# 質の高いバランスシート、強固な資本基盤、豊富な流動性

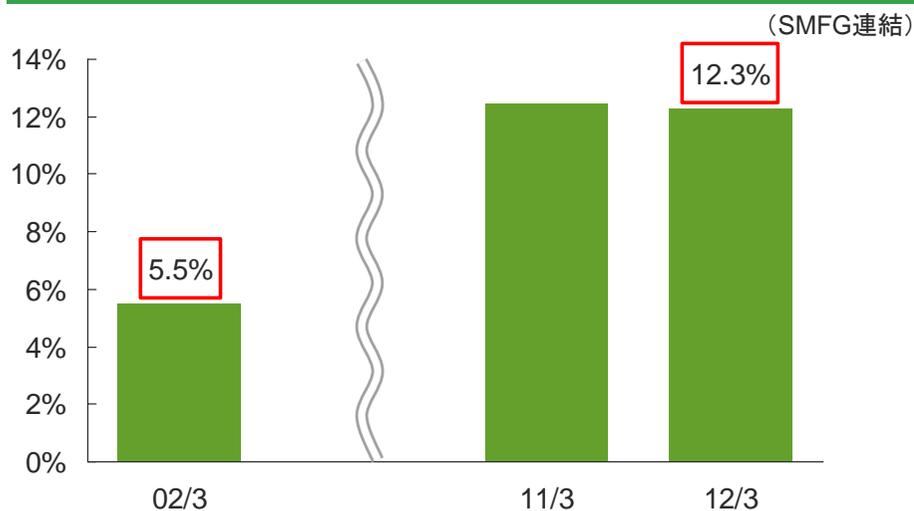
### 不良債権残高・比率



### グループ連結預貸率\*2



### Tier I比率\*1



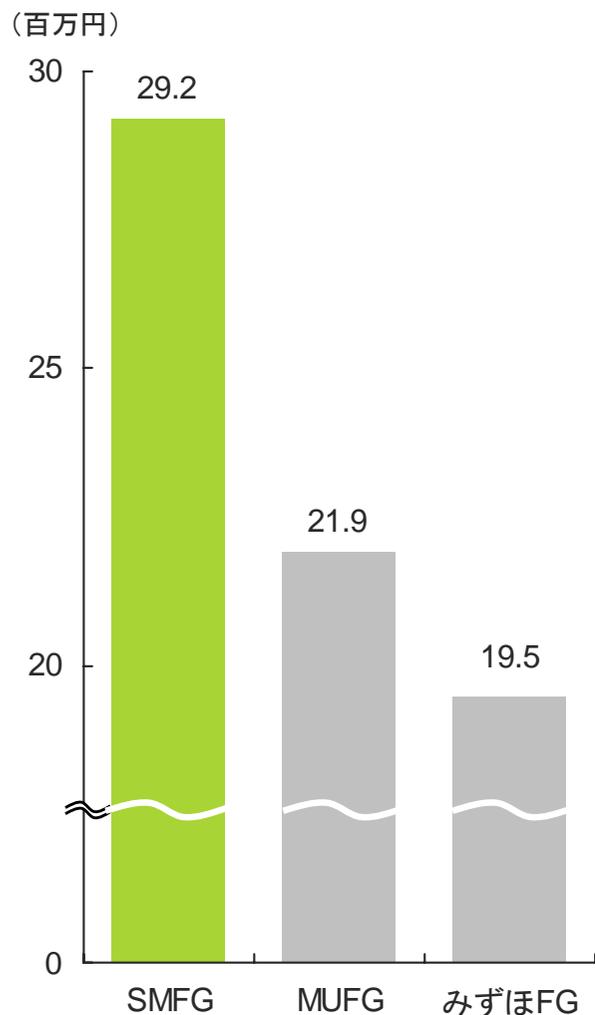
\*1 02/3月末はSMBC連結

\*2 各社公表データに基づく。SMFG、MUFG、みずほFGは12/3月末時点、その他は11/12月末時点

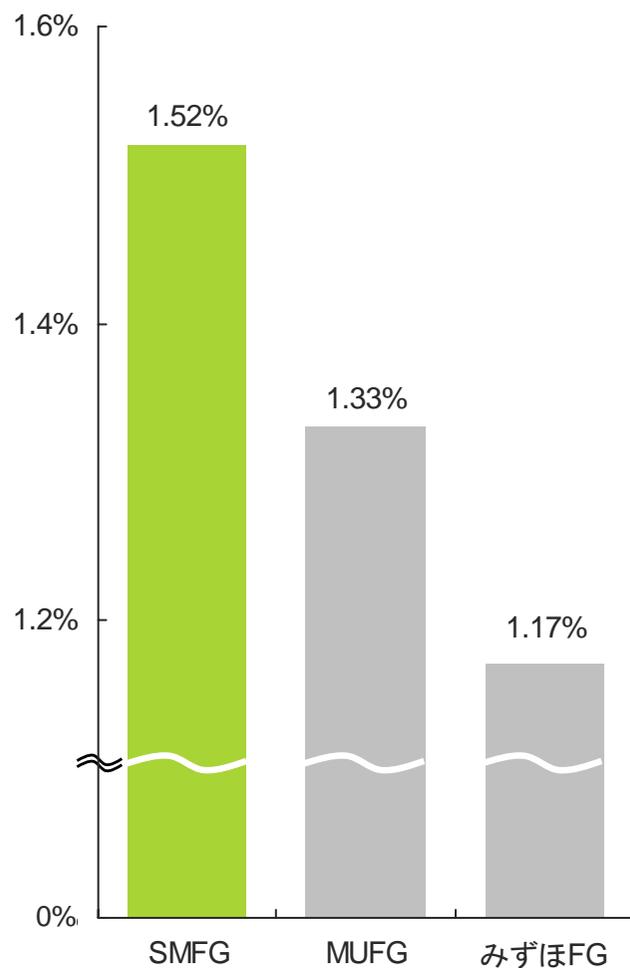
## 2. 当社の強みと課題

### 高い収益性、効率性

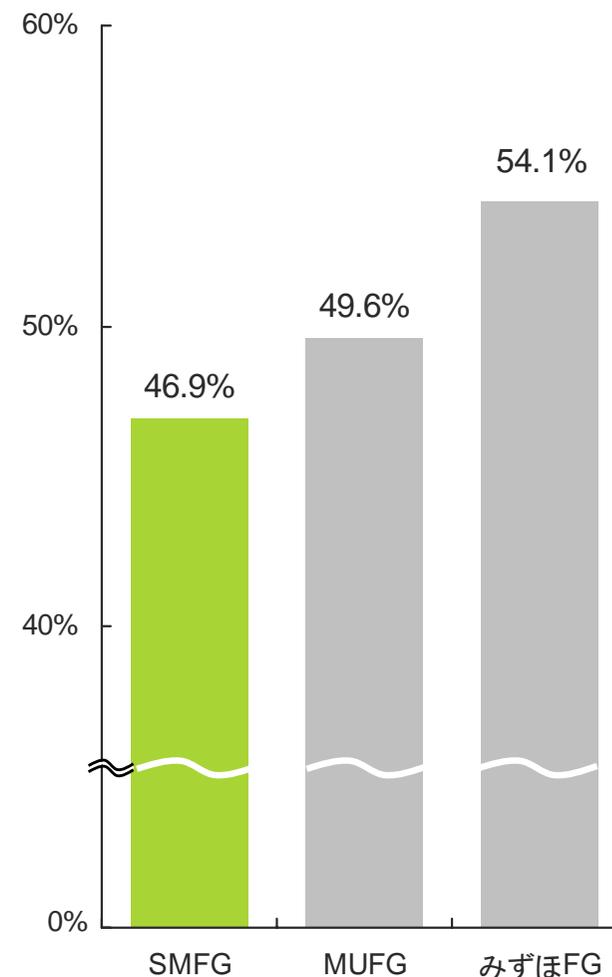
一人当たり業務純益<sup>\*1,2</sup>



国内預貸金利鞘<sup>\*1</sup>



経費率<sup>\*1</sup>



\*1 2011年度実績。各社公表資料に基づく。SMFGはSMBC単体、MUFGは三菱東京UFJ銀行単体、みずほFGはみずほ銀行及びみずほコーポレート銀行の2行合算 \*2 一般貸倒引当金繰入前、除く国債等債券損益

## 2. 当社の強みと課題

# G-SIFIsの格付推移(Moody's)\*

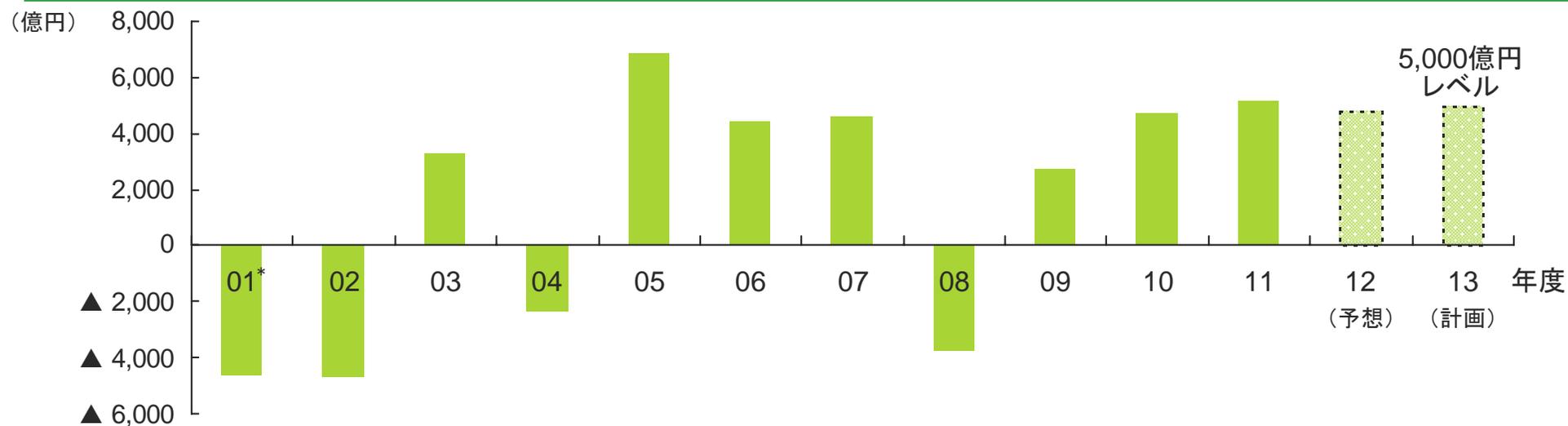
	2001年4月1日		2007年7月末		2012年7月末	
Aaa	Lloyds TSB Bank		Bank of America Bank of New York Mellon Citibank JPMorgan Chase Bank	Lloyds TSB Bank Royal Bank of Scotland UBS Wells Fargo Bank		
Aa1	Bank of America Crédit Agricole	Wells Fargo Bank UBS	Banco Santander Barclays Bank BNP Paribas Crédit Agricole Credit Suisse Deutsche Bank	HSBC Bank ING Bank Nordea Bank Société Générale State Street Bank & Trust	Bank of New York Mellon	
Aa2	Bank of New York Mellon Barclays Bank Citibank HSBC Bank	ING Bank JPMorgan Chase Bank Royal Bank of Scotland State Street Bank & Trust	<b>SMBC</b> BPCE(Banque Populaire) <b>BTMU</b>	<b>Mizuho CB/BK</b> UniCredit	State Street Bank & Trust	
Aa3	Banco Santander BNP Paribas BPCE(Banque Populaire) Commerzbank	Deutsche Bank Société Générale UniCredit	Commerzbank AG Goldman Sachs Bank Morgan Stanley Bank		<b>SMBC</b> <b>BTMU</b> HSBC Bank	JPMorgan Chase Bank Nordea Bank Wells Fargo Bank
A1	Credit Suisse		Bank of China		Bank of China Credit Suisse <b>Mizuho CB/BK</b>	
A2	<b>BTMU</b>				Barclays Bank BNP Paribas BPCE(Banque Populaire) Crédit Agricole Deutsche Bank	Goldman Sachs Bank ING Bank Lloyds TSB Bank Société Générale UBS
A3	<b>SMBC</b>	<b>Mizuho CB/BK</b>			Bank of America Citibank Commerzbank	Morgan Stanley Bank Royal Bank of Scotland
Baa1	Bank of China					
Baa2					Banco Santander UniCredit	

\* コア銀行の長期発行体格付(存在しない場合は長期預金格付)

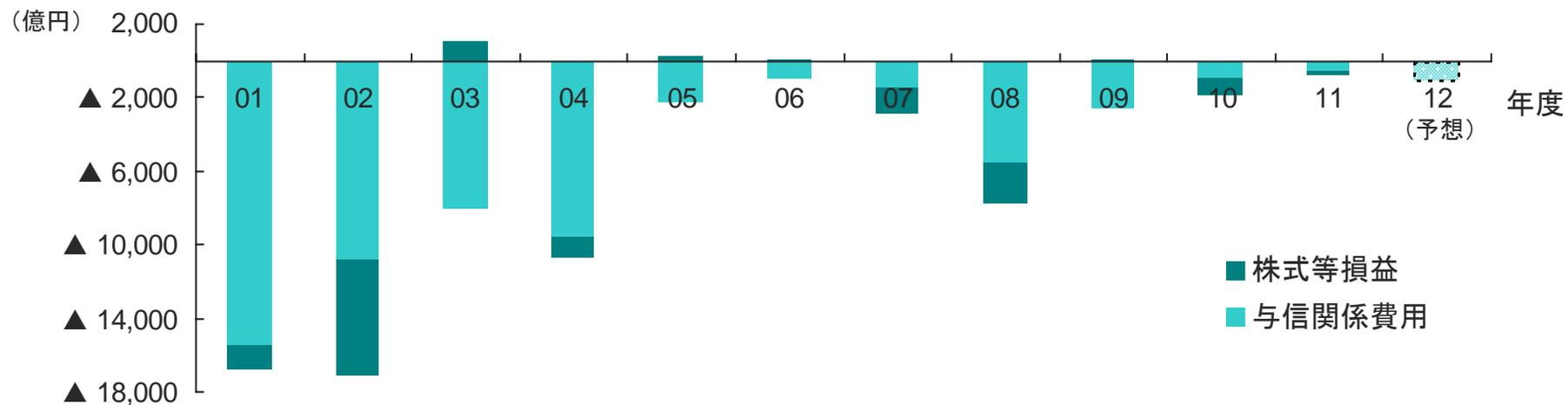
## 2. 当社の強みと課題

### 当社の長期業績推移

当期純利益 (SMFG連結)



与信関係費用、株式等損益 (SMBC単体)

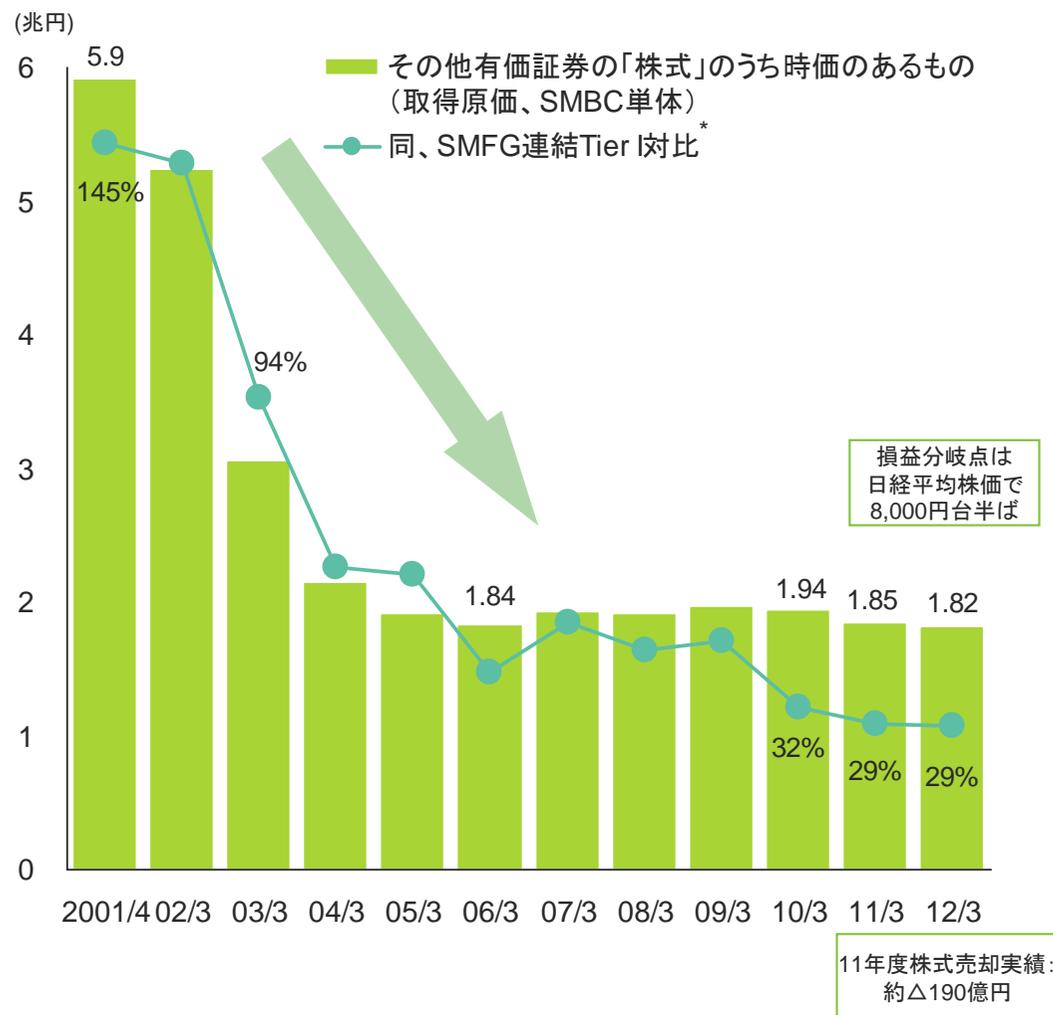


\* SMBC連結

## 2. 当社の強みと課題

### 政策保有株式

#### その他有価証券の「株式」のうち時価のあるもの



#### 外部環境の変化

- 自己資本規制強化の流れ

株価変動リスクの資本への影響を低減する必要性

政策保有株式の非ヘッジ残高の連結Tier IIに対する比率を25%程度に低減

\* 02/3月末まではSMBC連結Tier I対比

## 2. 当社の強みと課題

### ■ 中期経営計画の進捗

コアTier I比率(試算値)		11/3月末	12/3月末	13年度 目標値
	規制完全実施時基準	6%台前半	7%台半ば	8%程度
参考	規制導入時基準	8%強	9%強	

	10年度 (実績)	11年度 (実績)	13年度 目標値
連結当期純利益RORA	0.8%	0.9%	0.8%程度
連結経費率	52.5%	53.5%	50%台前半
単体経費率	45.6%	46.9%	40%台後半
海外収益比率*	23.3%	26.0%	30%程度

\* 中期経営計画期間中は、計画前提の1ドル=85円ベース

## 2. 当社の強みと課題

# 2012年度第1四半期業績

### P/L

### 主要グループ会社の 連結四半期純利益寄与(概数)

		(億円)			
		12年度 4-6月	前年 同期比	上期 予想	12年度 予想
SMBC 単体	業務粗利益	3,993	+98	7,300	14,700
	うち 国債等債券損益	792	+209		
	経費 <sup>*1</sup>	▲1,856	▲27	▲3,600	▲7,200
	<経费率>	46.5%	△0.4%	49.3%	49.0%
	業務純益 <sup>*2</sup>	2,138	+71	3,700	7,500
	与信関係費用	▲5	▲319	▲300	▲1,000
	株式等損益	▲693	▲376		
	経常利益	1,324	▲616	3,100	6,000
四半期(当期)純利益	710	▲964	2,000	3,800	
SMFG 連結	経常利益	2,377	▲635	4,600	9,100
	連単差	1,053	▲19	1,500	3,100
	四半期(当期)純利益	1,178	▲888	2,500	4,800
	連単差	468	+76	500	1,000

	(億円)	12年度 4-6月	前年 同期比
SMBCコンシューマー ファイナンス(旧プロミス) <sup>*3</sup>		210	+200
三井住友 ファイナンス&リース		60	+0
セディナ		60	+40
SMBC日興証券		40	▲0
三井住友カード		40	▲0

- 国際部門の増益等によりマーケティング部門は前年並み
- 市場営業部門は約▲500億円の減益

- 回収等によるコストの戻りの縮小のほか、不安定・不透明な情勢がコストに影響する可能性等を踏まえ、前年比増加

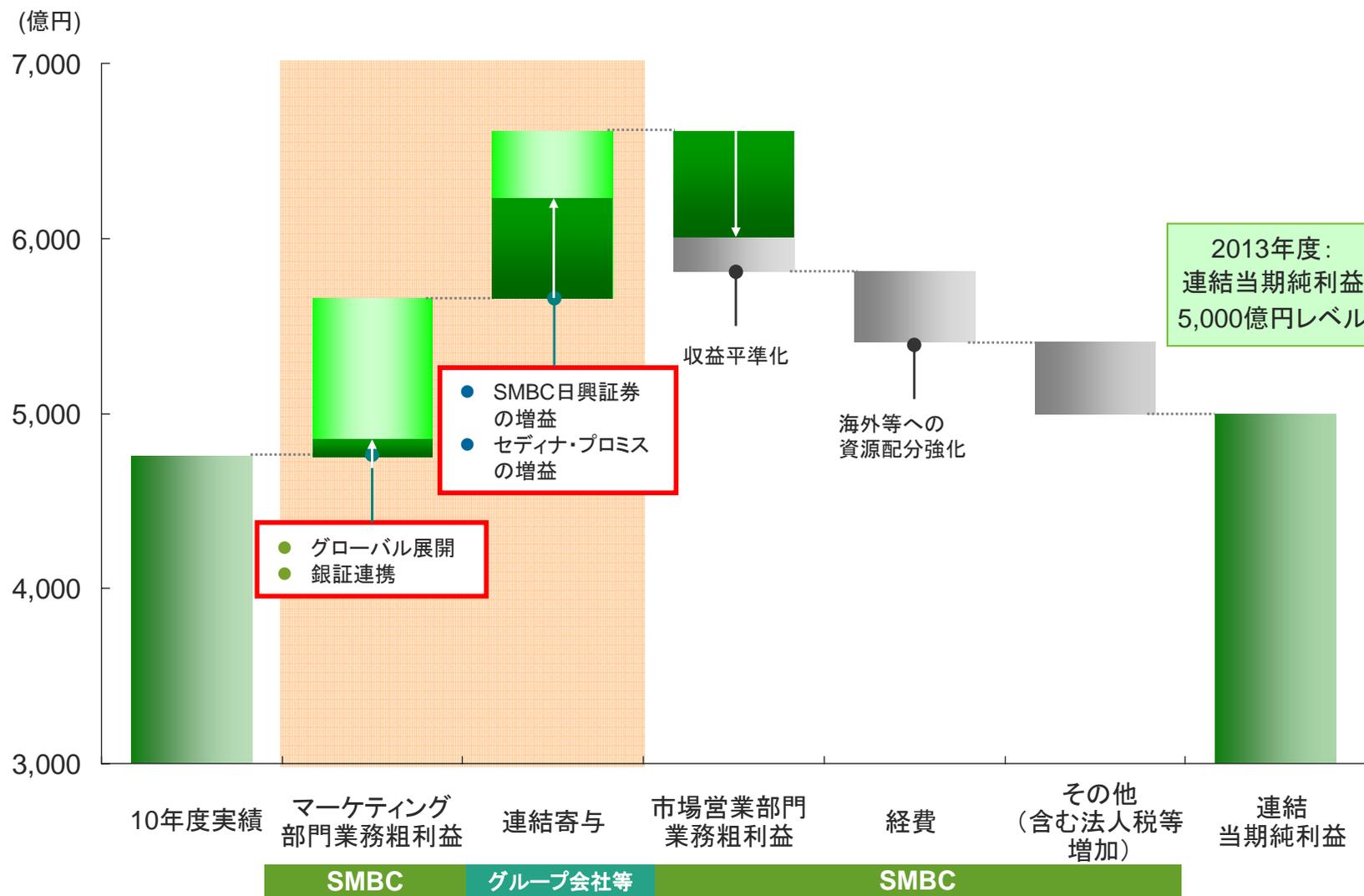
- 前年度に抜本的な引当処理を行ったSMBCコンシューマーファイナンス及びセディナが反転黒字化し、連単差拡大に貢献

\*1 臨時処理分を除く \*2 一般貸倒引当金繰入前 \*3 2011年12月に連結子会社化したため、前年度第1四半期は22%出資の持分法適用会社、今年度は連結子会社

### 3. 成長戦略

## ■ 中期経営計画の成長ドライバー

### 中期経営計画期間中の連結当期純利益増減

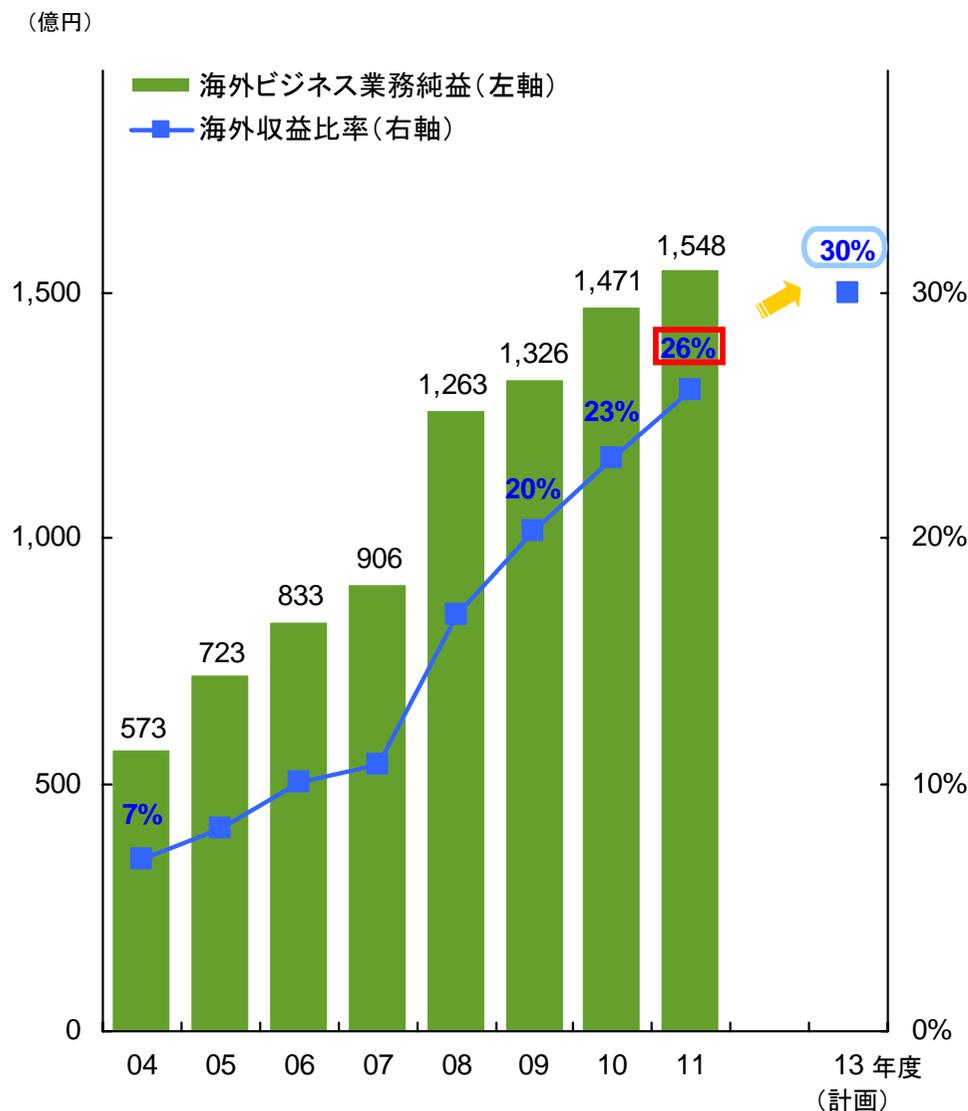


: 2012年度計画の2010年度実績対比増減額(金利・為替等影響勘案後)

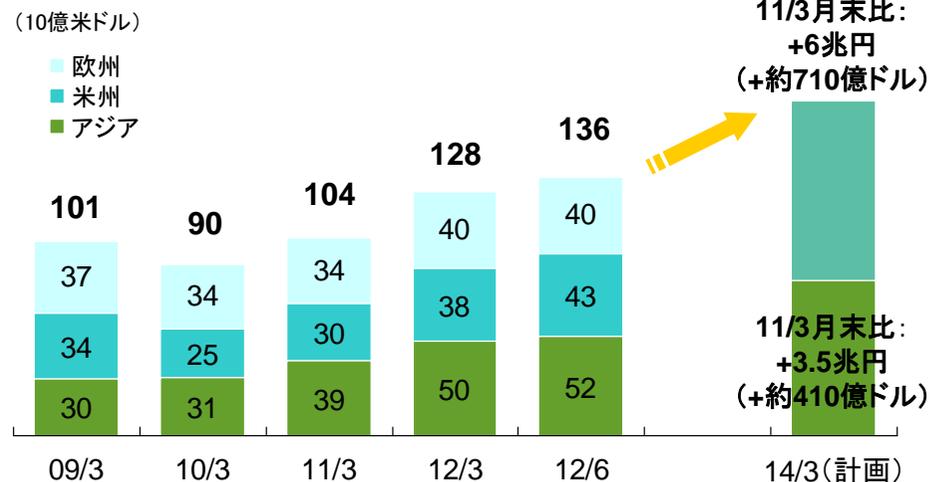
### 3. 成長戦略

## グローバル展開 (1) 戦略の進捗

#### 海外ビジネス業務純益、海外収益比率推移\*1



#### 海外貸出金残高(米ドル建)\*2,3



#### 海外地域別貸出金残高(円建)\*2

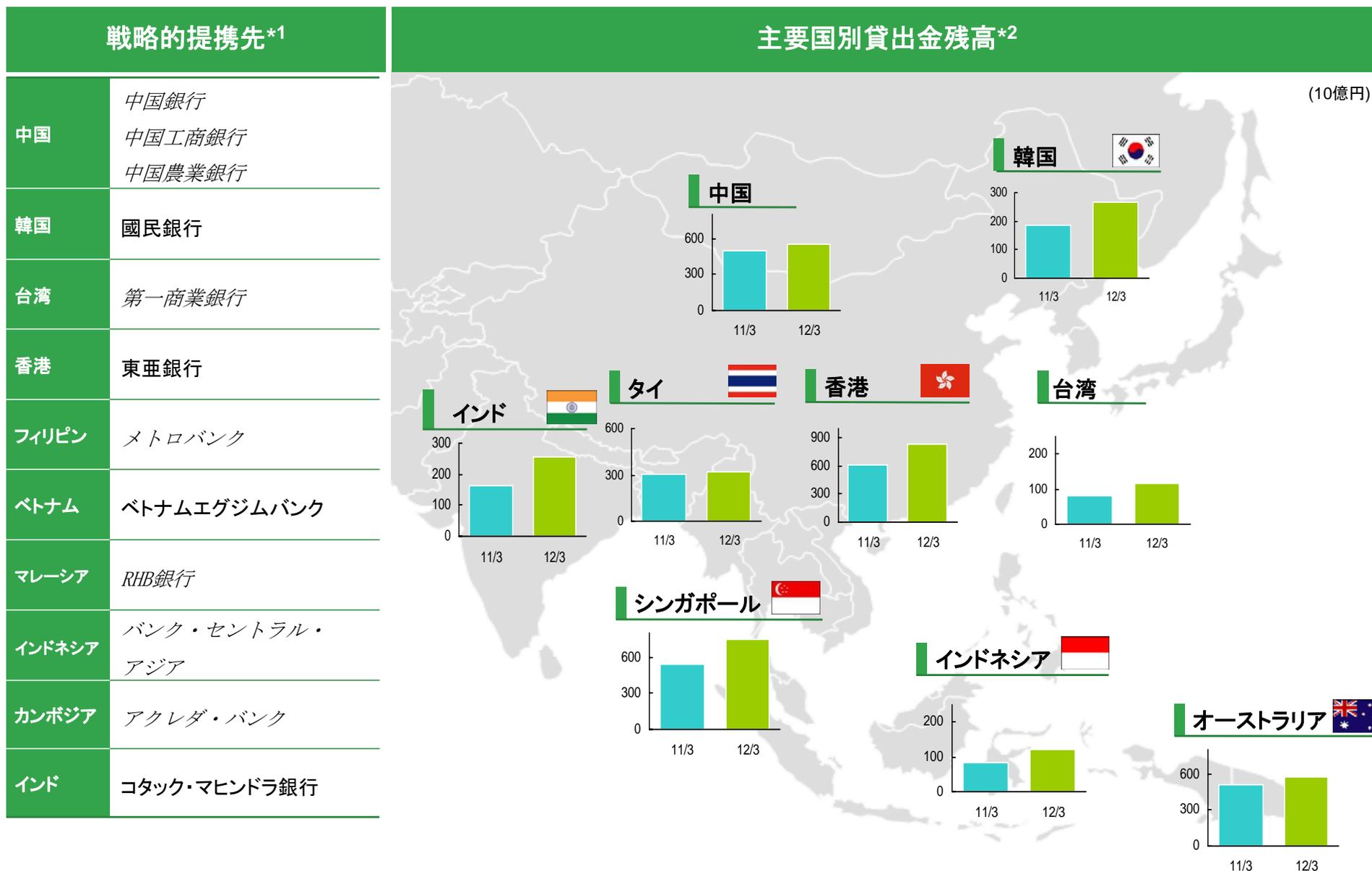
(兆円、末残)	12/3月末	11/3月末比	除く 為替影響
海外合計	10.5	+ 1.9	+ 2.1
(うち日系企業向け)	(2.8)	(+0.5)	(+0.6)
アジア	4.1	+ 0.9	+ 0.9
(うち日系企業向け)	(1.1)	(+0.1)	(+0.2)
米州	3.1	+ 0.6	+ 0.7
(うち日系企業向け)	(1.2)	(+0.3)	(+0.3)
欧州	3.3	+ 0.4	+ 0.5
(うち日系企業向け)	(0.5)	(+0.1)	(+0.1)

\*1 内部管理ベース。SMBC及び海外主要子銀行の合計。11年度の海外収益比率は、中期経営計画前提の1ドル=85円ベース

\*2 内部管理ベース。SMBC、欧州三井住友銀行及び三井住友銀行(中国)の合算。拠点ベース \*3 円換算残高を、全て米ドル建てであったものとして、各期末換算レートにて割り戻して表記

### 3. 成長戦略

## グローバル展開 (2) アジアにおける展開

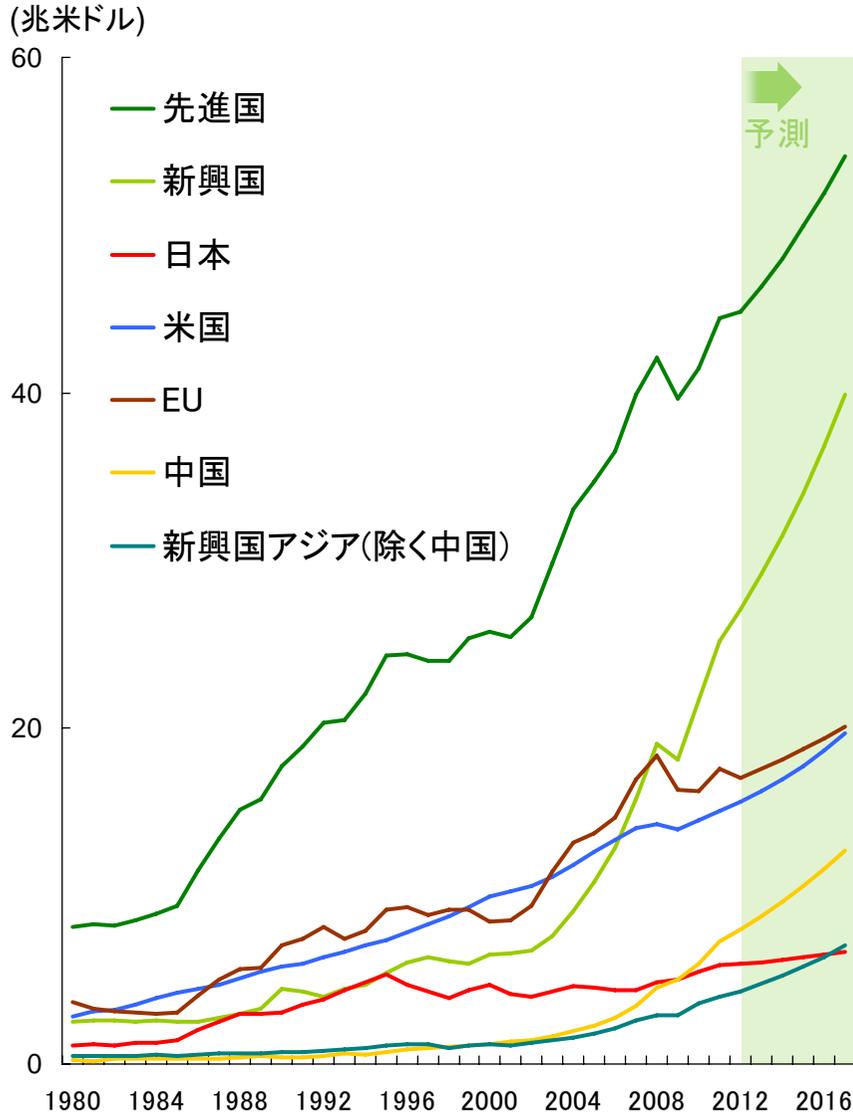


\*1 ゴシック体は、SMBCが出資している提携先 \*2 債務者所在国・地域ベース(拠点別ではない)。中国には、三井住友銀行(中国)の貸出金残高を含む。11/3月末残高は、12/3月末の期末為替仲値で割戻して表記

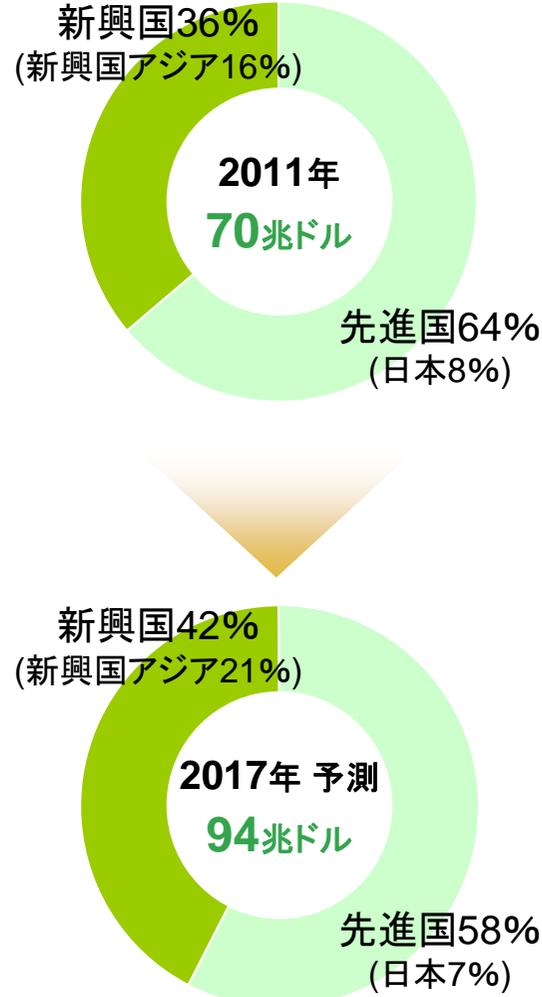
### 3. 成長戦略

## グローバル展開 (3) 世界のGDP予測

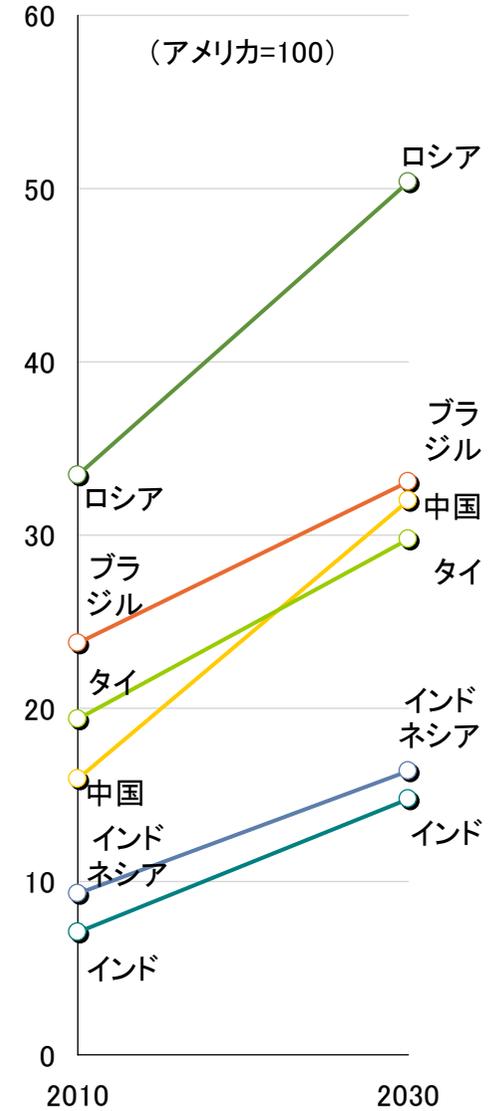
世界の名目GDP推移\*1



世界の名目GDPに占める割合\*1



新興国の一人当たりGDP\*2



\*1 出所: IMF "World Economic Outlook" (2012年4月, 7月)。世界184ヶ国、先進国34ヶ国、新興国150ヶ国、EU27ヶ国、新興国アジア(除く中国)26ヶ国

\*2 出所 英国「エコノミスト」誌編集部

### 3. 成長戦略

## グローバル展開 (4)-1 強みを持つプロダクツ

#### プロジェクトファイナンス、シンジケートローン

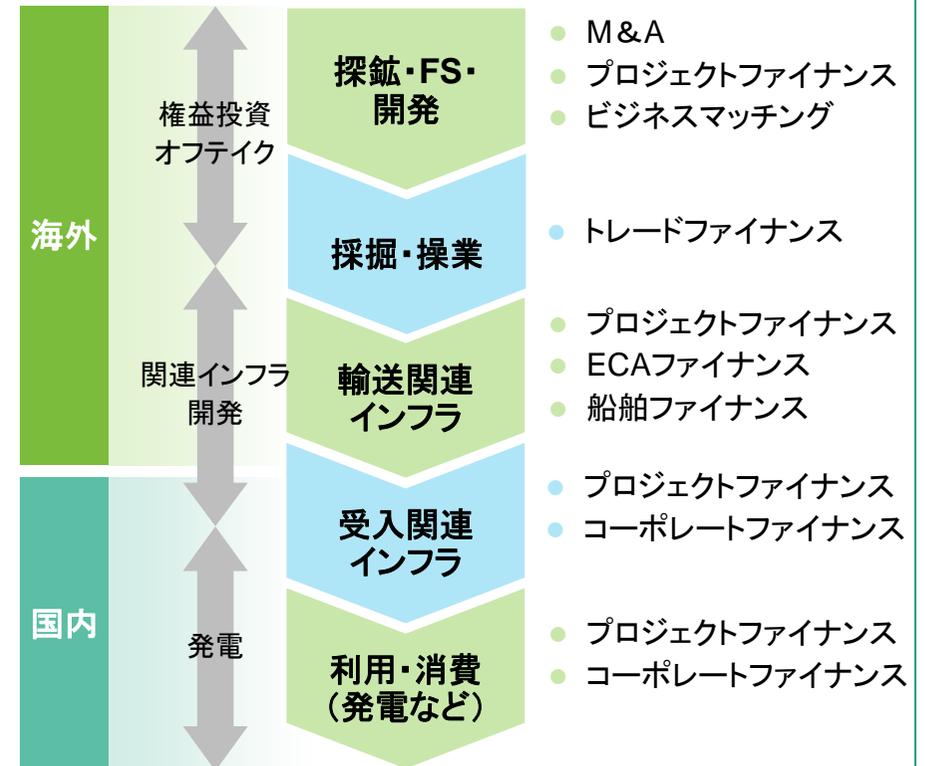
リーダテーブル(2012年1-6月)\*1

	グローバル	アジア*2
プロジェクトファイナンス	3位	5位
シンジケートローン	7位	6位

#### 成長産業クラスター室

新エネルギー	再生可能エネルギー
水	上下水、再生水、海水淡水化、等
環境インフラ	エコシティ開発、交通システム、蓄電池、等
資源	石炭、天然ガス、バリューチェーン、等
排出権	温暖化対策関連ビジネス
フロンティア	新成長分野・市場

#### 例 エネルギー関連ビジネスへのアプローチ



\*1 出所 トムソンロイター(マンデーティッド・アレンジャー) \*2 プロジェクトファイナンス:アジア大洋州、シンジケートローン:アジア(除く日本)

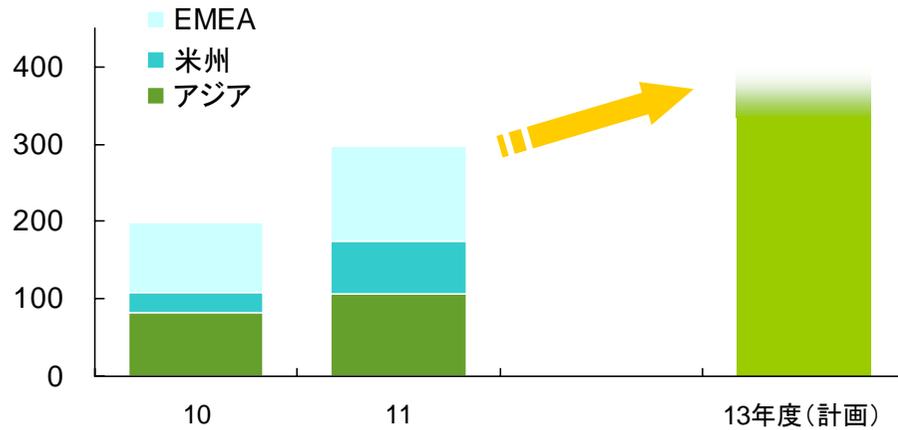
### 3. 成長戦略

## グローバル展開 (4)-2 強みを持つプロダクツ

### トレードファイナンス

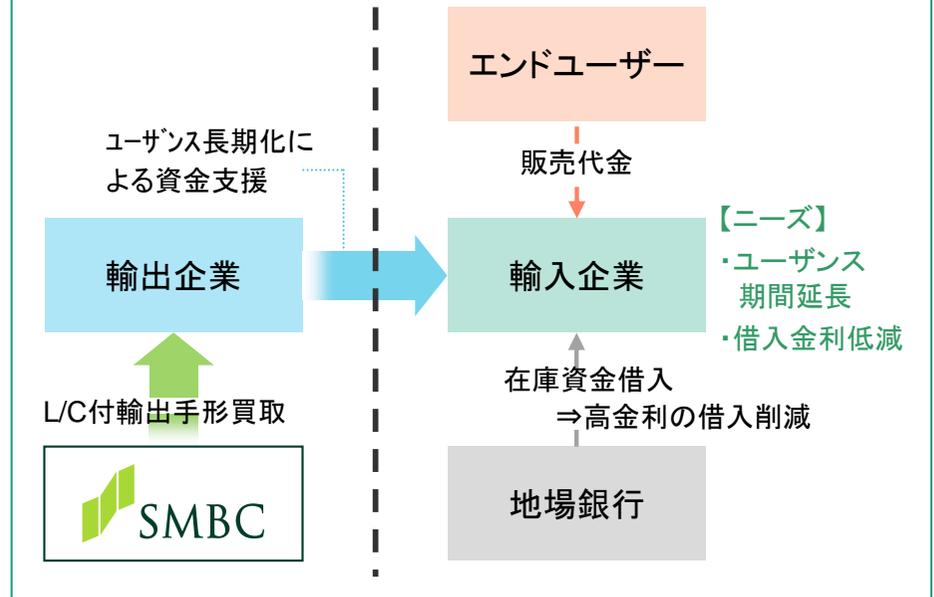
#### トレードファイナンス関連収益

(百万米ドル)



- トレードファイナンス残高(12/3月末): 175億ドル
- ROA(管理ベース、11年度): 1.6%
- 拠点数(12/3月末): 22拠点 ⇒ 14/3月末計画 30拠点  
EMEA 8、米州 2、アジア(含む東京) 12
- トレードファイナンス営業部が、金融機関向け貿易与信、コモディティ・ファイナンス等をグローバルに提供

### 例 サプライヤーズファイナンス



### キャッシュ・マネジメント・サービス

#### 顧客アンケート調査(アジア・パシフィック総合ランキング)\*

キャッシュ・マネジメント・サービス	大企業	4位	邦銀中、7年連続1位	目標 アジア地域CMS 外銀トップ3
	中堅企業	4位		
	中小企業	4位		
円決済サービス	金融機関	1位	7年連続1位	

\* 出所: 「ASIAMONEY」誌キャッシュ・マネジメント・サービス調査12/8月号

### 3. 成長戦略

## グローバル展開 (5) 提携・買収戦略

#### 投資判断の基準

- 1 当社グループの戦略の方向性と合致し、リスクコントロール可能であること
- 2 十二分な投資リターン(当期純利益RORA0.8%を達成)
- 3 顧客サービス強化に繋がること
- 4 安定的な外貨ファンディングの確保

#### 例 RBSからの航空機リース事業買収

##### 買収会社の概要

- 6月1日付で共同買収完了、SMBC Aviation Capitalとして業務開始
- 取得価額は約73億米ドル<sup>\*1</sup>  
出資比率はSMFL60%、SMBC30%、住友商事10%
- SMBC Aviation Capitalは既存借入のうち30億米ドルをJBICでリファイナンス
- RBS AC出身者5名が引続き経営陣として業務執行に従事  
取締役会は株主側役員6名を加えた計11名で構成

##### 航空機リース会社 保有・管理機体数ランキング<sup>\*2</sup>

	リース会社	国	機体数
1	GECAS	米国	1,755
2	ILFC	米国	1,031
	<b>旧RBS AC + SMFG/住友商事グループ<sup>*3</sup></b>		<b>335</b>
3	BBAM	米国	327
4	AerCap	オランダ	326
5	CIT Aerospace	米国	263
6	旧RBS AC	アイルランド	246
	:		
17	SMFG/住友商事グループ <sup>*3</sup>	オランダ	89

<sup>\*1</sup> 最終的な金額は2012年5月末の資産・負債の額により調整 <sup>\*2</sup> 2011年12月31日時点(出所: Ascend)

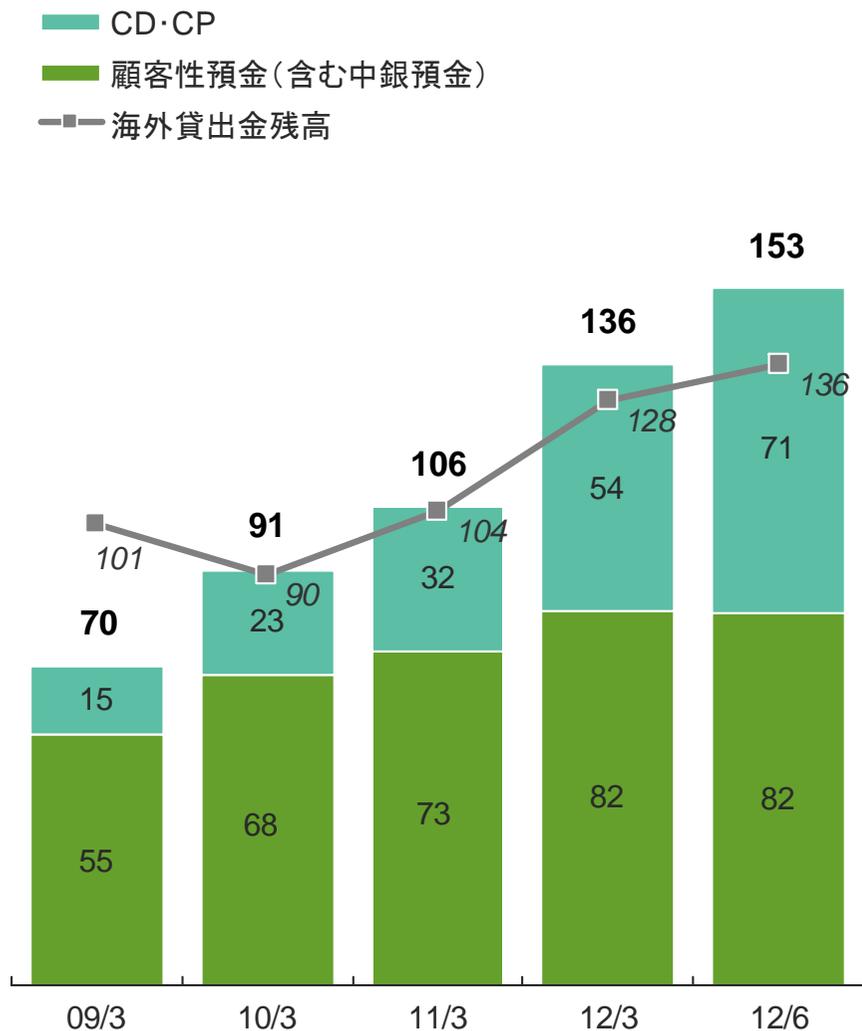
<sup>\*3</sup> 三井住友ファイナンス&リースの子会社であるSMFL Aircraft Capital Corporation B.V. と住友商事の子会社であるSumisho Aircraft Asset Management B.V.の合計

### 3. 成長戦略

## グローバル展開 (6) 外貨調達

### 海外預金等残高\*1

(10億米ドル)



### 外貨資金調達の多様化

- 海外機関投資家向け外貨建シニア債発行(12/7月)
- 国内個人向け外貨建シニア債発行(12/6月)

### 外貨建て債券発行額(百万通貨単位)



### SMBCの直近の米ドル建シニア債発行時のスプレッド水準

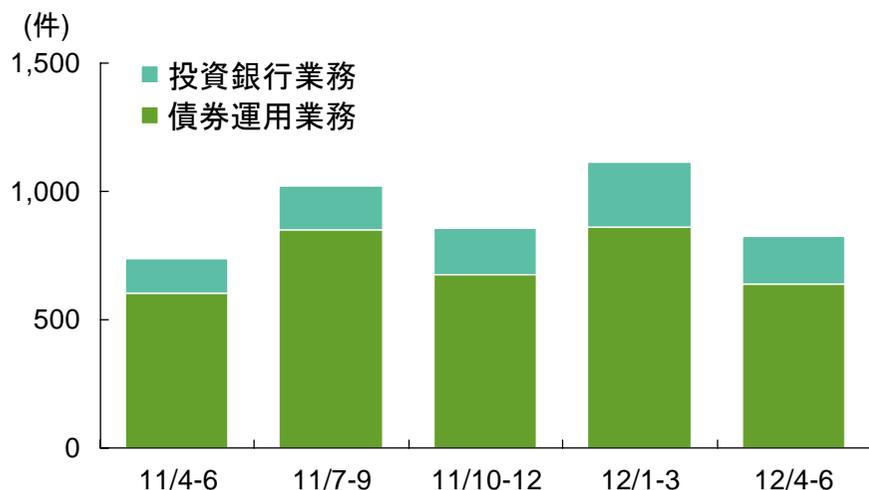
年限	条件決定日	発行体	発行額 (百万米ドル)	クーポン (%)	スプレッド* (bp)	格付*2	
						Moody's	S&P
3年	2012/6/19	National Bank of Canada	1,000	1.50	T+120	Aa2	A
	2012/6/20	Wells Fargo & Co	2,000	1.50	T+115	A2	A+
	2012/7/10	Sumitomo Mitsui Banking Corp	1,000	1.35	T+100	Aa3	A+
	2012/7/26	National Australia Bank Ltd (NY)	1,250	1.60	T+133	Aa2	AA-
	2012/7/26	ANZ National International Ltd (LDN)	750	1.85	T+158	Aa3	AA-
	2012/7/31	Citigroup Inc	1,250	2.25	T+205	Baa2	A-
5年	2012/7/10	Sumitomo Mitsui Banking Corp	1,250	1.80	T+120	Aa3	A+
	2012/8/6	Westpac Banking Corp	1,250	2.00	T+138	Aa2	AA-
	2012/8/13	JPMorgan Chase & Co	2,500	2.00	T+135	A2	A
10年	2012/6/29	Citigroup Inc	750	4.50	T+250	Baa2	A-
	2012/7/10	Sumitomo Mitsui Banking Corp	750	3.20	T+170	Aa3	A+
	2012/7/31	Citigroup Inc	500	4.50	T+235	Baa2	A-

\*1 内部管理ベース(各期末換算レートにて換算)。SMBC、欧州三井住友銀行及び三井住友銀行(中国)の合算 \*2 発行時の格付

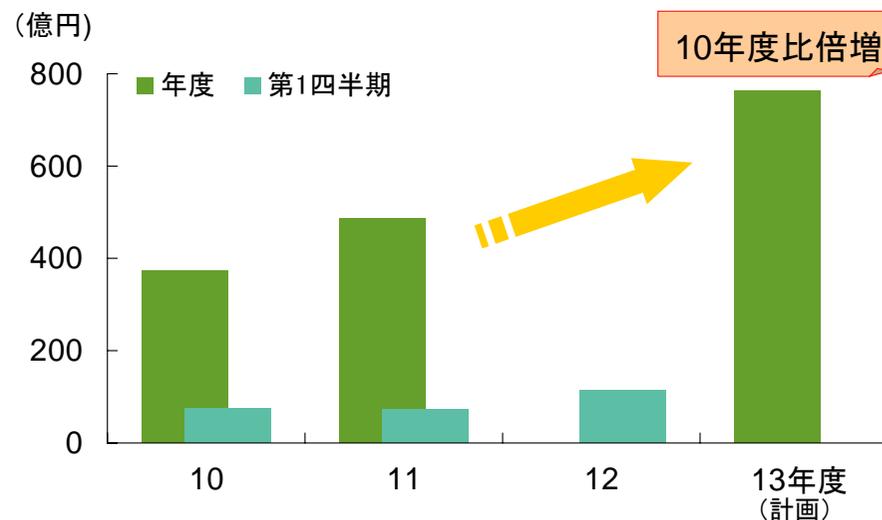
### 3. 成長戦略

## 銀証連携 (1) 銀証連携の進捗

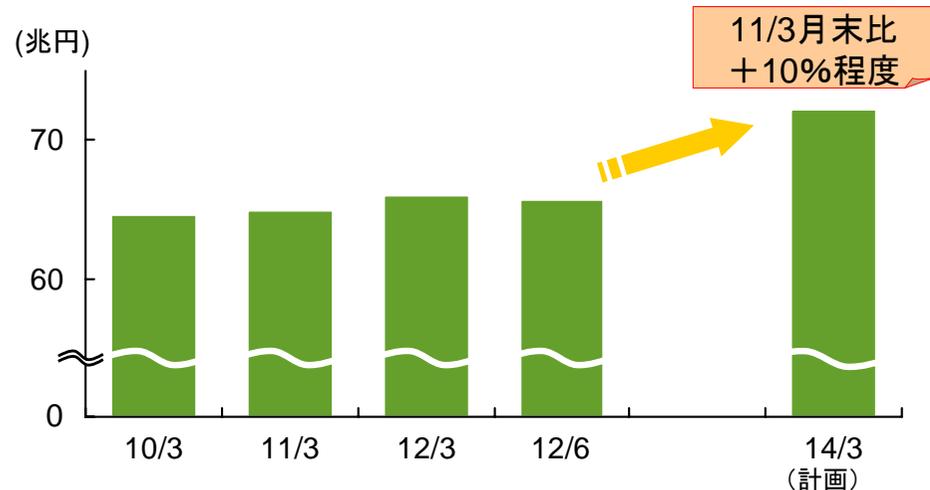
#### SMBCからSMBC日興証券への紹介件数



#### 連携収益\*2



#### 個人預り資産残高(グループ合算)\*1



#### リーグテーブル(2012年4-6月、SMBC日興証券)

	順位	シェア
株式関連 (ブックランナー、引受金額)*3	5位	5.7%
円債総合 (主幹事、引受金額)*4	5位	6.4%
ファイナンシャル・アドバイザー (M&A、取引金額)*5	5位	33.0%
ファイナンシャル・アドバイザー (M&A、案件数)*5	5位	2.0%

\*1 内部管理ベース(SMBC、SMBC日興証券、SMBCフレンド証券の合計) \*2 内部管理ベース \*3 出所:トムソンロイターの情報を基にSMBC日興証券が作成(日本企業関連、グループ合算ベース)  
\*4 出所:SMBC日興証券(事業債、財投機関債・地方債[主幹事方式]、サムライ債) \*5 出所:トムソンロイター(日本企業関連公表案件(不動産案件除外))

### 3. 成長戦略

## 銀証連携 (2) SMBC日興証券の業績

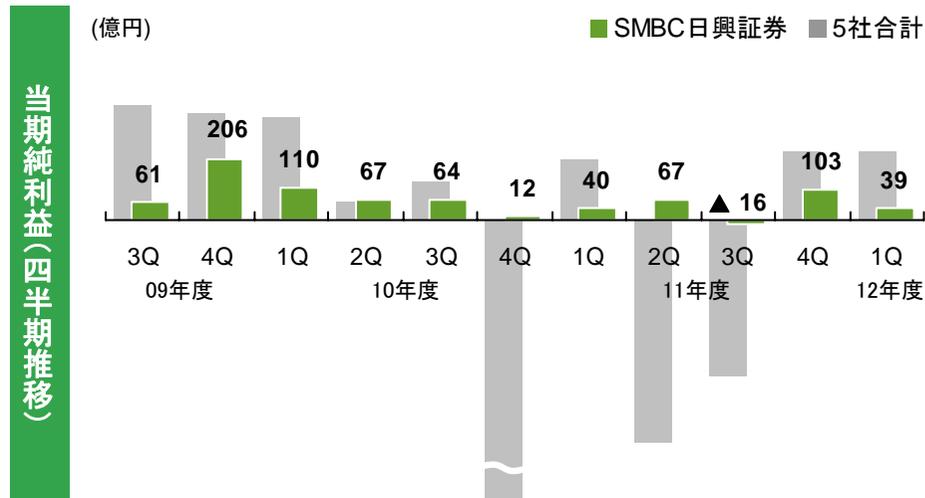
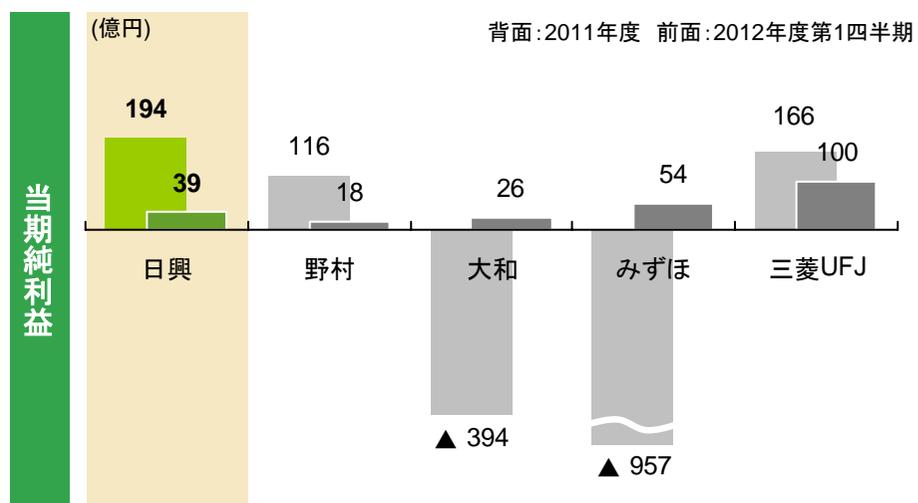
#### SMBC日興証券(連結)業績

(億円)	11年度	12年度 4-6月	前年同期比
純営業収益	2,288	552	▲3
販売費・一般管理費	▲1,851	▲458	▲1
経常利益	445	98	▲3
当期純利益*1	194	39	▲1

#### トピックス(12年度第1四半期)

- 個人向け復興国債・個人向け復興応援国債の7月債につき、総発行額の約35%を販売  
(6月の販売額:1,807億円)
- 日興JFアジア・ディスカバリー・ファンドの当初設定額が、リーマンショック以降の国内設定投信の投資信託で最大規模(当初設定額:1,313億円)

#### 他社比較\*2



\*1 2011年度は法人税率の引下げ等の税制改正影響▲48億円を含む \*2 各社公表データに基づく。野村は野村ホールディングス連結(米国会計基準、当社株主に帰属する当期純利益を記載)、大和は大和証券グループ本社連結、みずほはみずほ証券連結、三菱UFJは三菱UFJ証券ホールディングス連結。

### 3. 成長戦略

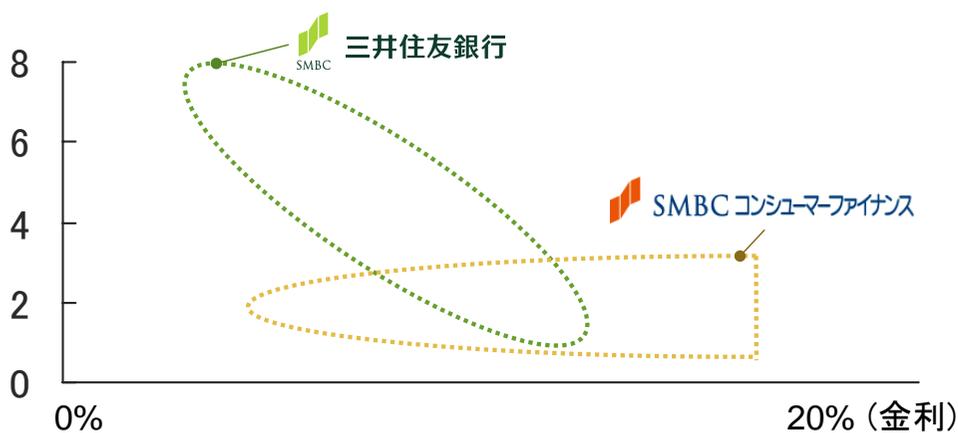
## ■ コンシューマーファイナンス事業 (1) 当社グループのコンシューマーファイナンスビジネス

#### コンシューマーファイナンス事業の再編

- プロミスを完全子会社化(2012年4月)、  
SMBCコンシューマーファイナンスへ社名変更  
(2012年7月)
  - 経営の機動性向上、グループ各社間の  
連携強化
- オリックス・クレジット株式をオリックスへ譲渡  
(2012年6月)
  - SMBCとSMBCコンシューマーファイナンス  
に経営資源を集中

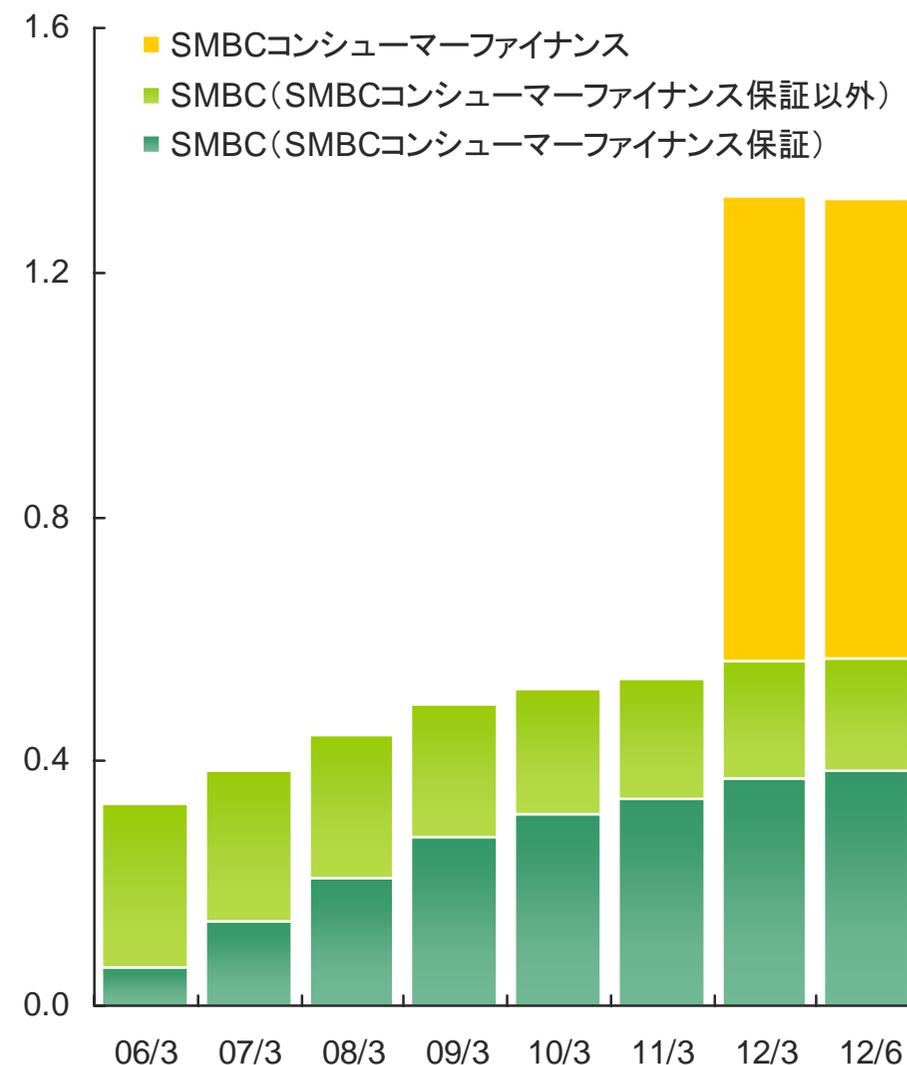
#### 当社グループのコンシューマーファイナンス事業

(借入限度額、百万円)



#### グループ主要会社のカードローン残高

(兆円)



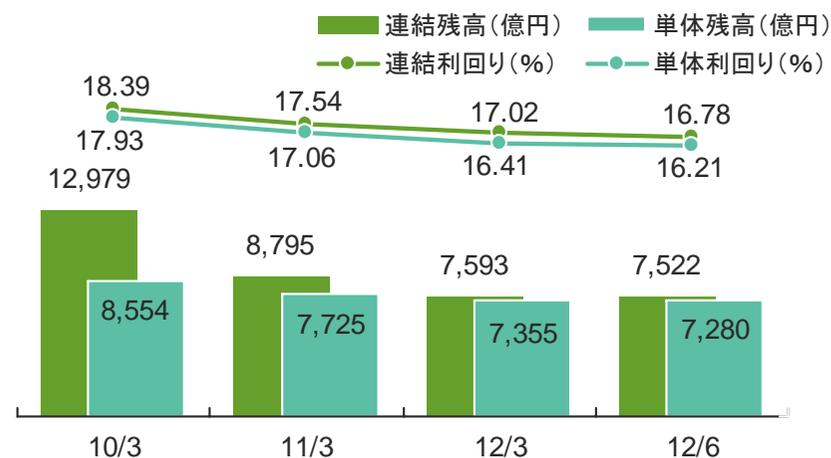
### 3. 成長戦略

## ■ コンシューマーファイナンス事業 (2) SMBCコンシューマーファイナンスの業況

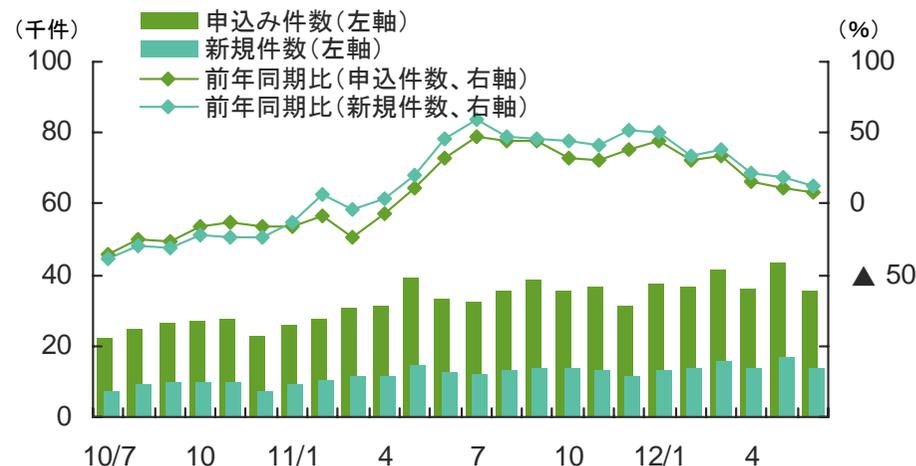
### SMBCコンシューマーファイナンス(連結)業績

(億円)	11年度	12年度 4-6月	前年 同期比
<b>営業収益</b>	1,962	469	▲35
うち営業貸付金利息	1,379	316	▲46
うち信用保証収益	328	87	+62
<b>営業費用</b>	▲3,528	▲255	△220
うち貸倒費用*	▲746	▲64	△127
うち利息返還費用*	▲1,938	▲0	△96
うち債務保証費用	▲81	▲4	+4
<b>営業利益</b>	▲1,566	214	+185
<b>経常利益</b>	▲1,555	220	+184
<b>当期純利益</b>	▲1,696	213	+173

### 貸付金残高と利回り



### 申込・新規件数の状況



\* 2011年度は、利息返還への抜本的な対応として利息返還関連の引当金を▲2,400億円繰入

### 3. 成長戦略

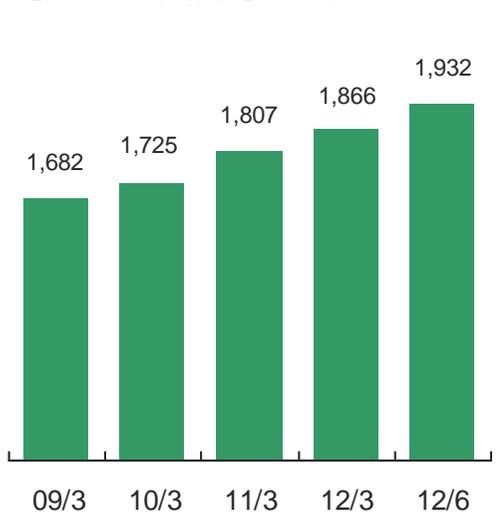
## ■ コンシューマーファイナンス事業 (3) SMBCコンシューマーファイナンスの業況

#### 海外事業

貸付金残高(12/6月末)\*1

香港	197.2億円
タイ	40.8億円
深セン	16.6億円
瀋陽	3.5億円

【貸付金残高推移】(百万香港ドル)



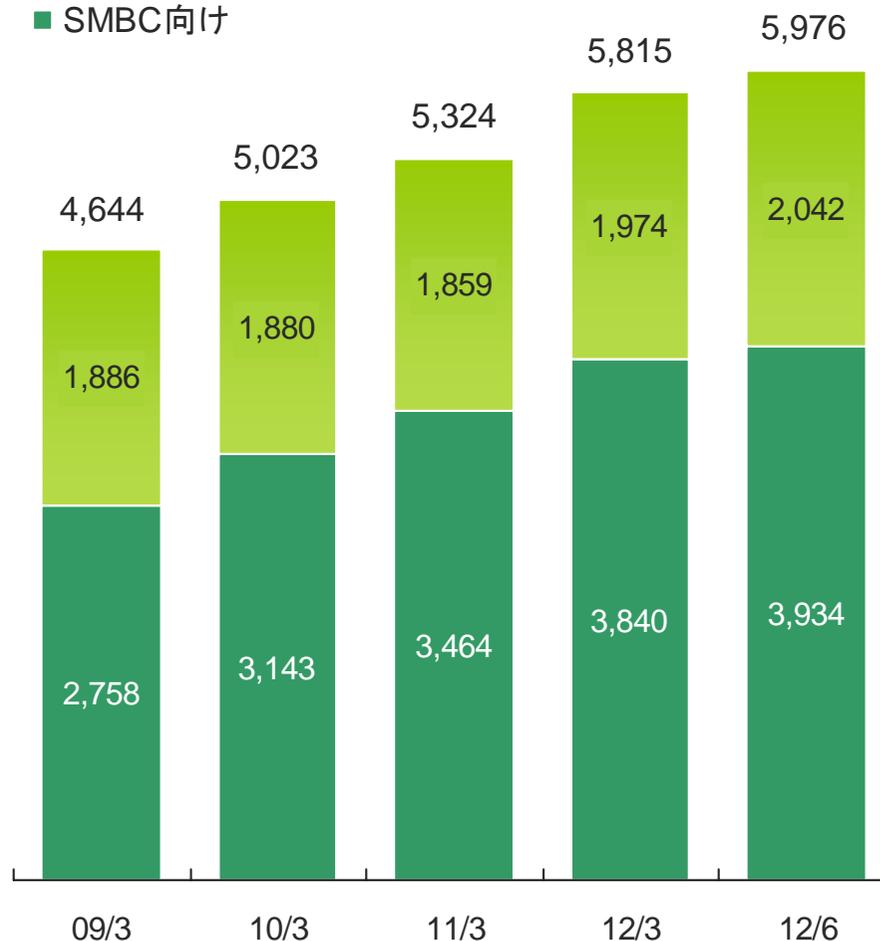
#### プロミス香港の業績\*2

(億円)	10年度	11年度 (15ヶ月決算)	12年度 4-6月
営業収益	74	89	18
経常利益	42	52	10
当期純利益	34	43	8

#### 保証事業

【保証残高】(億円、提携先数:183社)

- 地方銀行等向け
- SMBC向け

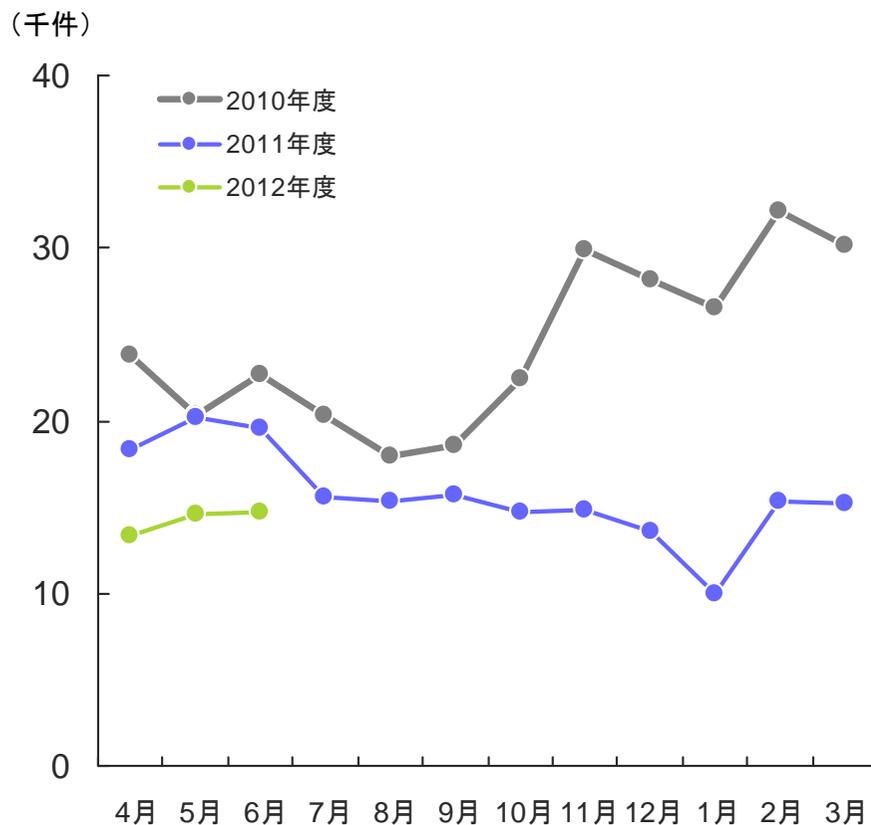


\*1 現地通貨を円換算 \*2 連結調整前の計数。現地通貨を円換算。11年度は決算月を12月から3月に変更したため15ヶ月決算

### 3. 成長戦略

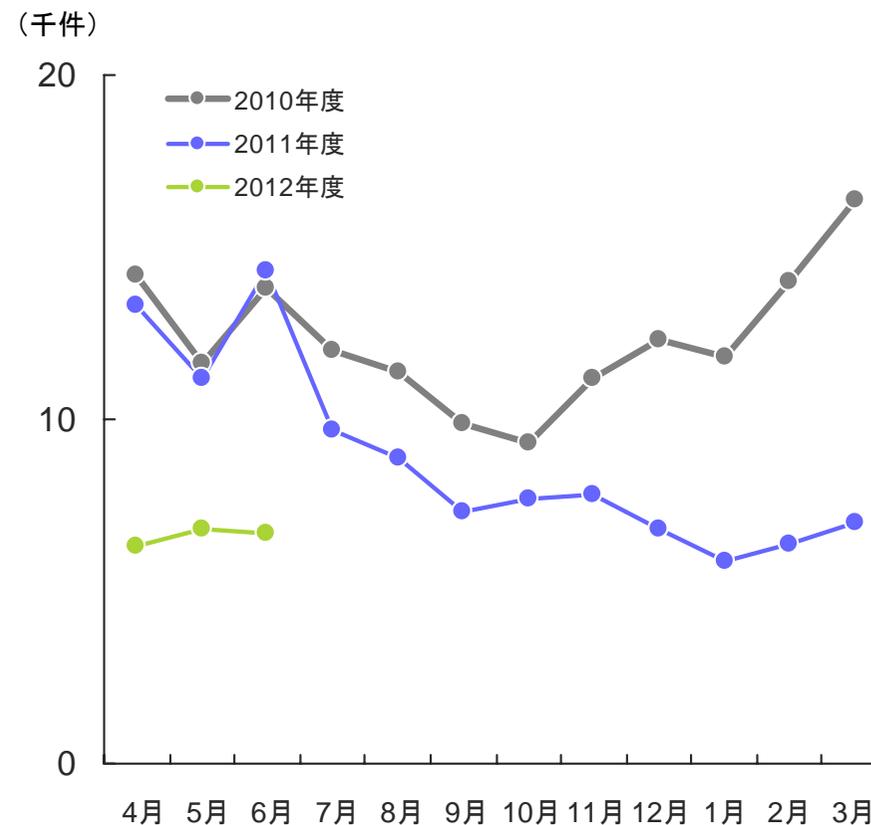
## ■ コンシューマーファイナンス事業 (4) SMBCコンシューマーファイナンスの業況

取引履歴開示請求件数\*



<b>2010年度</b>	23.8	20.3	22.7	20.3	18.0	18.6	22.4	29.9	28.2	26.6	32.2	30.2
<b>2011年度</b>	18.3	20.2	19.6	15.6	15.3	15.7	14.7	14.8	13.6	10.0	15.3	15.2
<b>2012年度</b>	13.3	14.6	14.7									

利息返還請求件数\*

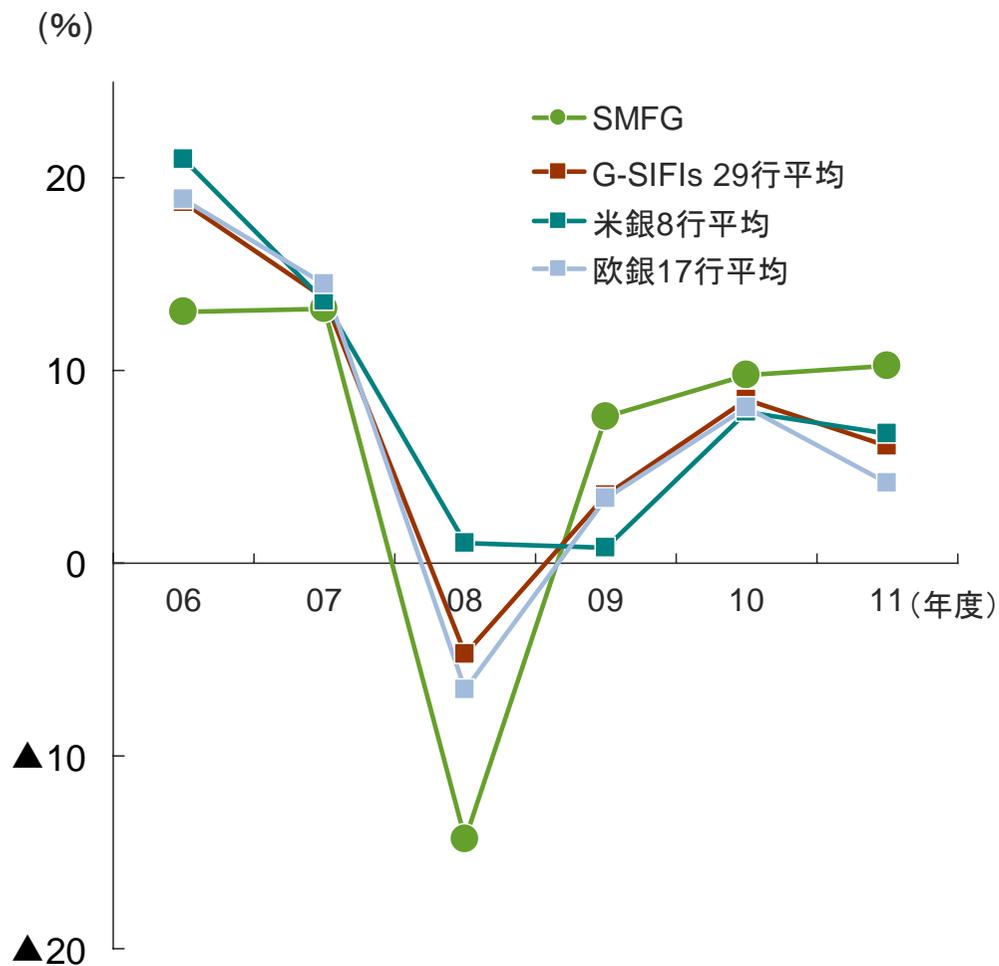


<b>2010年度</b>	14.2	11.6	13.8	12.0	11.4	9.9	9.3	11.2	12.3	11.8	14.0	16.4
<b>2011年度</b>	13.3	11.2	14.3	9.7	8.9	7.3	7.7	7.8	6.8	5.9	6.4	7.0
<b>2012年度</b>	6.3	6.8	6.7									

\* SMBCコンシューマーファイナンス単体(10/9月までは、旧プロミス単体+旧三洋信販の単純合算)

# ■ おわりに

## G-SIFIsのROE推移\*1



## 株主還元

	1株当たり 配当金額 <sup>*2,3</sup>	連結配当性向 <sup>*2</sup>
07年度	120円	20.5%
08年度	90円	-
09年度	100円	46.8%
10年度	100円	29.1%
11年度	100円	26.8%
12年度予想	100円	29.4%

\*1 出所: Bloomberg \*2 普通株式のみ \*3 2009年1月4日付で実施した株式分割(1株につき100株の割合をもって分割)が07年度期首に行われたと仮定した場合の計数を記載

# 参考資料

# 2012年度第1四半期業績の概要

## 主な財務指標

業務純益*1		SMBC単体
通期予想比 約29%	【2012年度業績予想】 7,500億円	2,138億円

クレジットコスト		SMBC単体
通期予想比 約1%	【2012年度業績予想】 ▲1,000億円 (上期予想: ▲300億円)	▲5億円

経費率		SMBC単体／SMFG連結
目標内に コントロール	【2013年度目標値】 単体経費率:40%台後半	46.5%
	【2013年度目標値】 連結経費率:50%台前半	52.2%

四半期純利益		SMFG連結
通期予想比 約25%	【2012年度業績予想】 4,800億円	1,178億円

## 1株当たり情報(SMFG連結)

	12年度 4-6月	前年 同期比	12年度 (予想)
1株当たり 四半期純利益	87.04円	▲61.43円	354.52円

	12/6月末	12/3月末比
1株当たり純資産	3,776.36円	▲80.01円

\*1 一般貸倒引当金繰入前

# 2011年度業績サマリー

## P/L

		(億円)		11年度	前年比	12年度予想
SMBC 単体	業務粗利益	15,325	+7			14,700
	経費*1	▲7,195	▲203			▲7,200
	<経費率>	46.9%	+1.3%			49.0%
	業務純益*2	8,130	▲196			7,500
	与信関係費用*3	▲586	△357			▲1,000
	株式等損益	▲152	+721			
	経常利益	6,953	+996			6,000
	当期純利益*4	4,780	+568			3,800
SMFG 連結	経常利益	9,356	+1,101			9,100
	当期純利益*4	5,185	+426			4,800

## 主要グループ会社の 連結純利益寄与(概数)

	(億円)	
	11年度	前年比
セディナ*5	▲380	▲380
プロミス*6	▲280	▲70
三井住友カード*	160	+30
三井住友 ファイナンス&リース	180	+20
SMBC日興証券	190	▲60
SMBC信用保証	330	+180

\*1 臨時処理分を除く \*2 一般貸倒引当金繰入前 \*3 前年実績は特別損益分を含む \*4 2011年度は法人税率の引下げ等の税制改正影響を含む (SMBC単体: ▲226億円、SMFG連結: ▲396億円)  
\*5 セディナ連結子会社化に伴う段階取得益117億円を含まず(2010年度) \*6 プロミス連結子会社化に伴う段階取得益251億円を含まず(2011年度)

# 部門別実績\*1

SMBC単体		(億円)	10年度	11年度	前年比*2
個人部門	粗利益		3,878	3,837	▲ 55
	経費		▲ 2,903	▲ 2,895	△ 9
	業務純益		975	942	▲ 46
法人部門	粗利益		4,439	4,229	▲ 182
	経費		▲ 2,217	▲ 2,228	▲ 2
	業務純益		2,222	2,001	▲ 184
企業金融部門	粗利益		2,013	2,126	+ 80
	経費		▲ 360	▲ 382	▲ 15
	業務純益		1,653	1,744	+ 65
国際部門	粗利益		1,865	1,974	+ 274
	経費		▲ 579	▲ 649	▲ 98
	業務純益		1,286	1,325	+ 176
マーケティング部門	粗利益		12,195	12,166	+ 117
	経費		▲ 6,059	▲ 6,154	▲ 106
	業務純益		6,136	6,012	+ 11
市場営業部門	粗利益		3,307	3,193	▲ 114
	経費		▲ 179	▲ 192	▲ 13
	業務純益		3,128	3,001	▲ 127
本社管理	粗利益		▲ 184	▲ 34	+ 4
	経費		▲ 754	▲ 849	▲ 84
	業務純益		▲ 938	▲ 883	▲ 80
合計	粗利益		15,318	15,325	+ 7
	経費		▲ 6,992	▲ 7,195	▲ 203
	業務純益		8,326	8,130	▲ 196

プロダクト別粗利益	(億円)	(前年比*2)
ウチ 国内貸出金収益	4,854	(▲ 260)
国内円預金収益	1,689	(+ 7)
国際部門金利関連収益*3	1,152	(+ 151)
<b>金利収益</b>	<b>8,213</b>	<b>(▲ 120)</b>
ウチ 投資信託	469	(▲ 51)
一時払終身保険	106	(+ 31)
平準払保険	75	(+ 38)
個人向けコンサルティング関連収益	746	(+ 6)
ウチ シンジケーション関連	499	(+ 52)
ストラクチャードファイナンス*4	490	(▲ 41)
不動産ファイナンス*4	303	(▲ 40)
投資銀行ビジネス関連収益*4	1,548	(▲ 11)
ウチ デリバティブ販売	163	(▲ 7)
振込・EB	925	(▲ 11)
外為収益	435	(+ 10)
国際部門非金利収益*3	882	(+ 141)
<b>非金利収益</b>	<b>3,953</b>	<b>(+ 237)</b>
<b>マーケティング部門粗利益</b>	<b>12,166</b>	<b>(+ 117)</b>

金利・為替影響等: ▲146億円

(表面ベース)  
前年同期比:  
▲29億円

期中平均貸出等残高・スプレッド	平均残高		スプレッド	
	11年度	前年比*2	11年度	前年比*2
(兆円、%)				
国内貸出	47.6	▲1.1	1.05	▲0.03
ウチ 個人部門	15.3	▲0.1	1.46	▲0.03
ウチ 法人部門	16.6	▲0.9	1.13	▲0.05
ウチ 企業金融部門	11.8	+0.2	0.68	▲0.03
国際部門運用資産*5	1,274億ドル	+286億ドル	1.10	▲0.04

\*1 内部管理ベース \*2 金利・為替影響等を除くベース \*3 香港・台北支店における日系企業取引収益を含む \*4 金利収益を含む \*5 貸出金・貿易手形・有価証券の合計

# 国債等債券損益

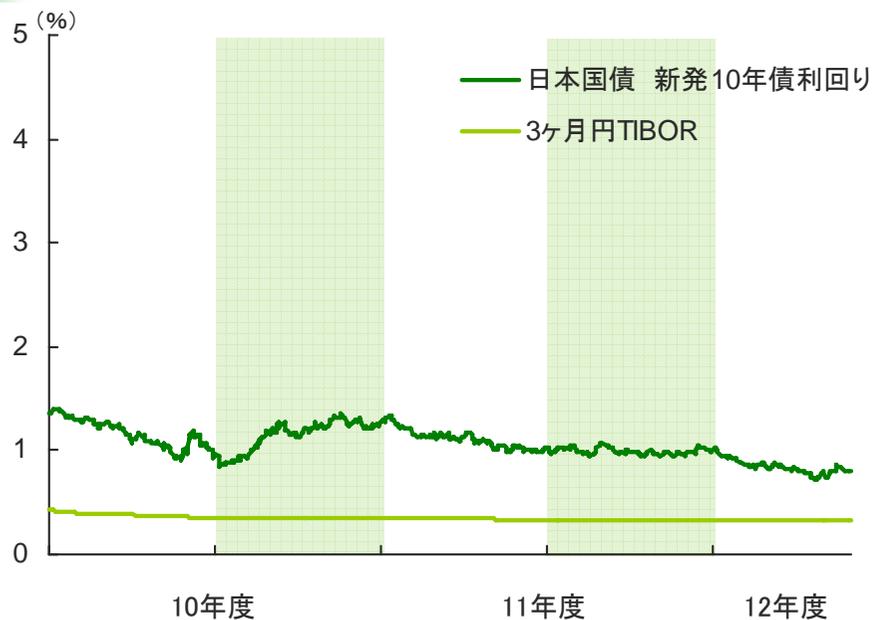
(億円)	10年度	11年度	12年度 第1 四半期	前年 同期比
	市場営業部門粗利益	3,307	3,193	1,195

(億円)	10年度	11年度	12年度 第1 四半期	前年 同期比
	国債等債券損益	1,471	1,525	792
国内業務部門	284	232	185	+117
国際業務部門	1,187	1,293	607	+93

(SMBC単体)

## 内外金利動向

### 日本円



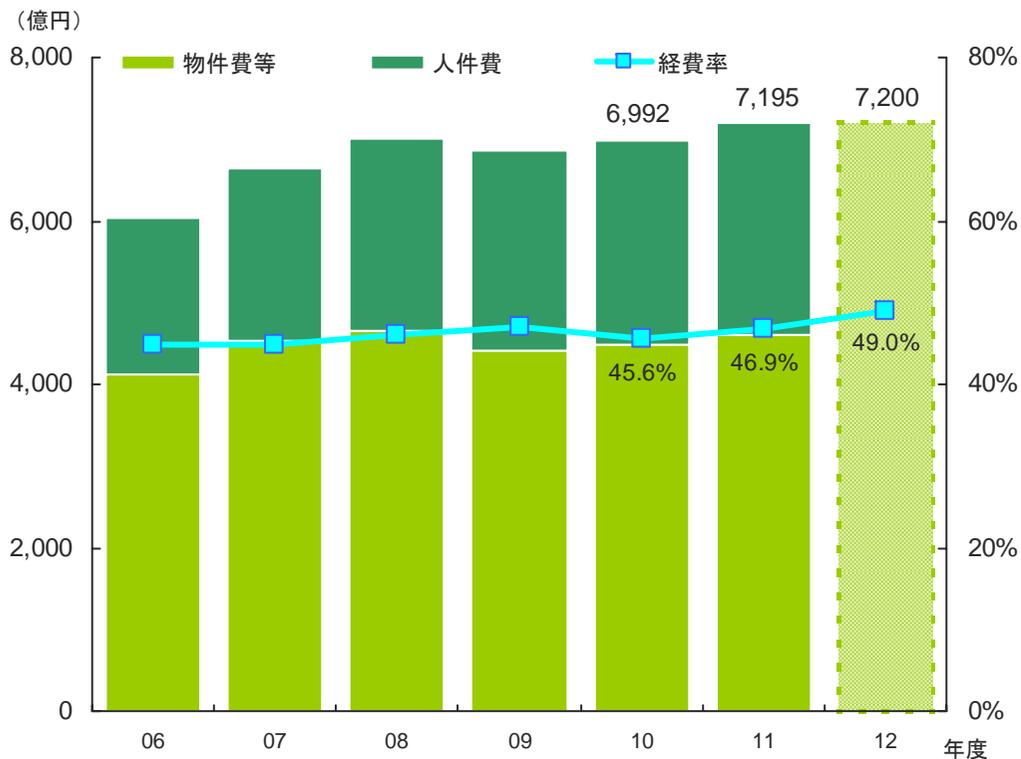
### 米ドル



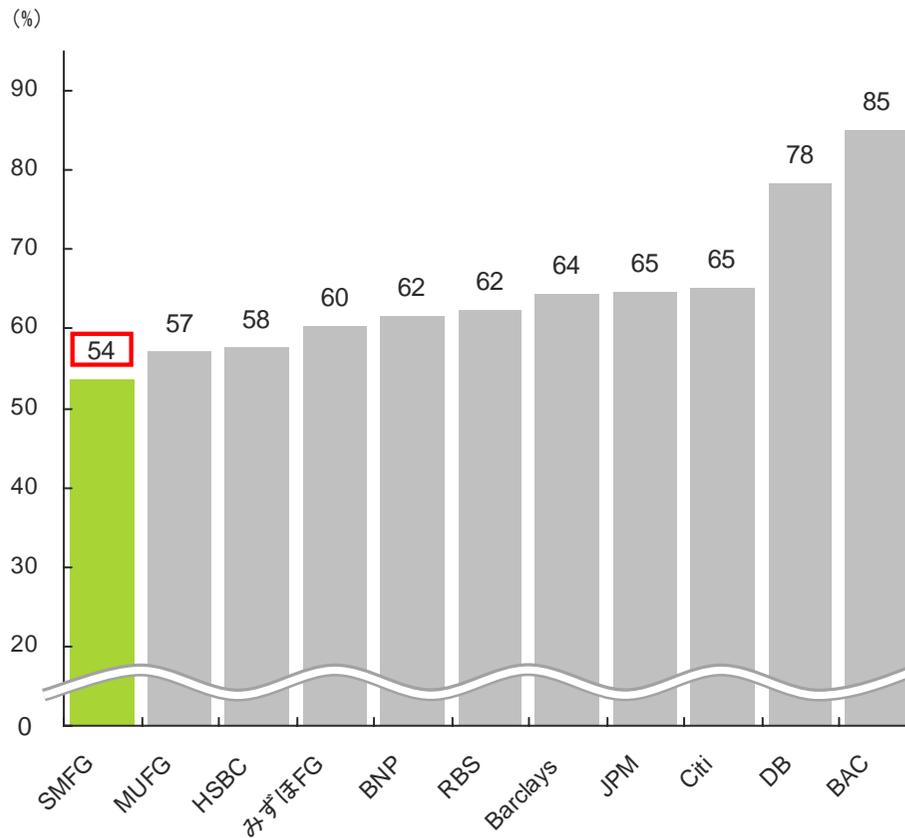
# 経費

## 経費の推移\*1

### SMBC単体



## 連結経費率の国内外主要行比較\*3



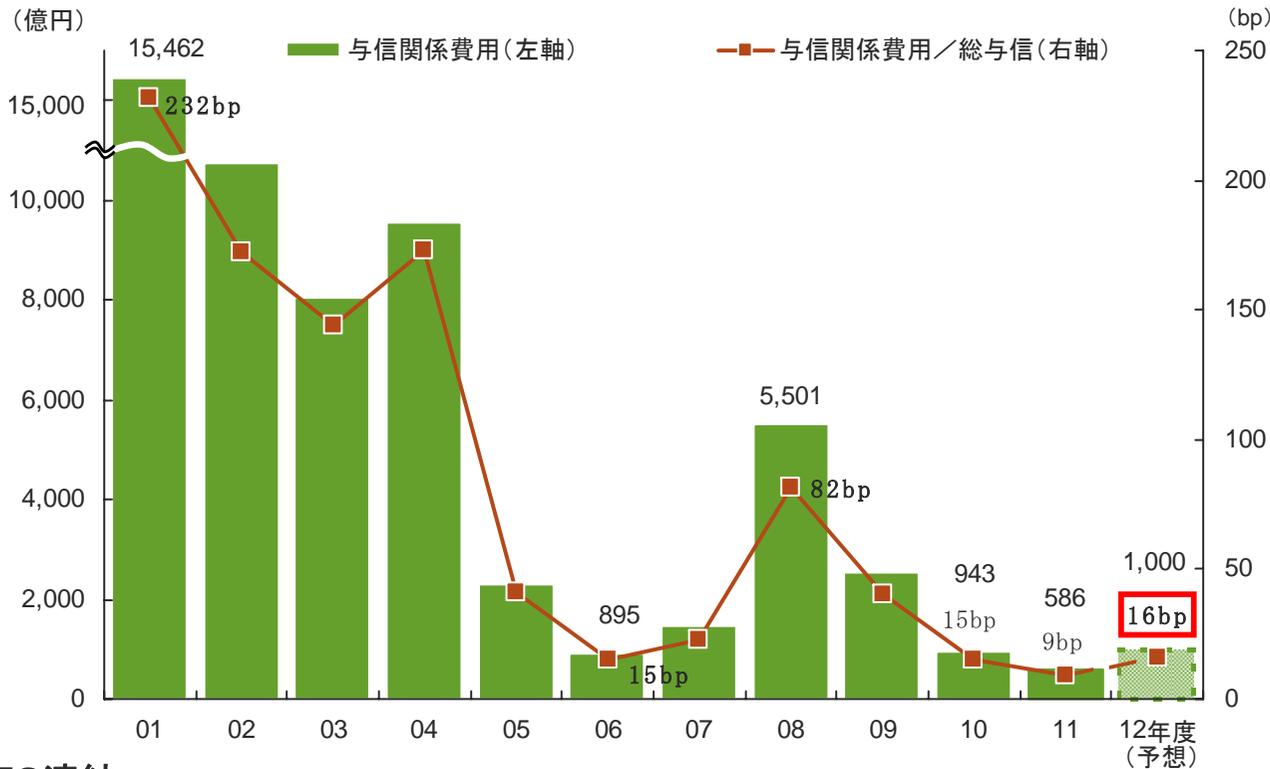
### SMFG連結

(億円)	10年度	11年度	前年比
連結経費*2	▲13,161	▲13,884	▲723
経費率	52.5%	53.5%	+1.0%

\*1 臨時処理分を除く。 \*2 連結営業経費からSMBC単体の臨時処理分を除いたもの \*3 各社公表データに基づき、営業経費(邦銀は傘下銀行の臨時処理分を除く)をトップライン収益(保険契約に基づく保険金及び給付金純額を除く)で除したものの。SMFG、MUFG、みずほFGは2011年度実績、その他は2011年1-12月実績

# クレジットコスト

## SMBC単体



連単差の主な内訳 (億円)	11年度	前年比
セディナ <sup>1</sup>	▲260	▲10
関西アーバン銀行	▲210	△70
三井住友カード <sup>2</sup>	▲90	△90
プロミス <sup>2</sup>	▲40	▲40
SMBC信用保証	△20	△110
三井住友ファイナンス&リース	△60	△210

## SMFG連結

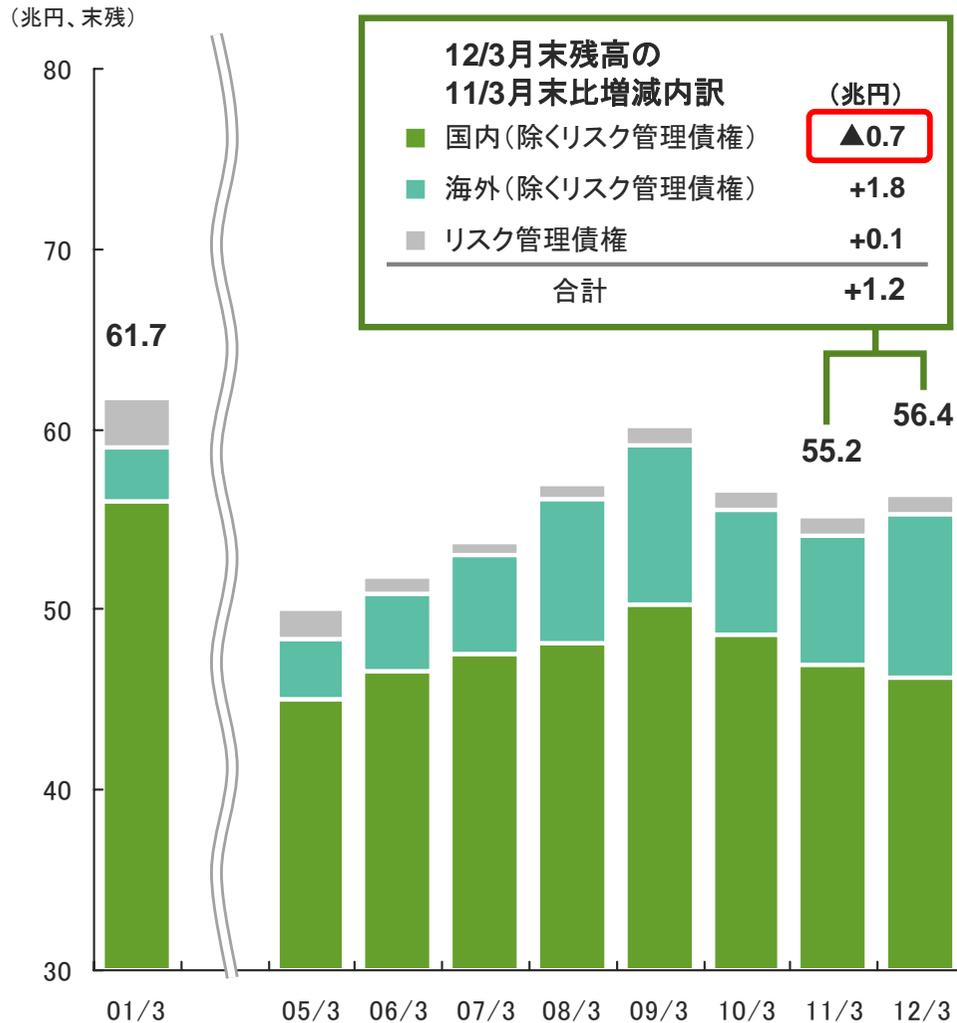
	(億円)											前年比
与信関係費用	17,034	12,009	9,566	11,968	3,020	1,450	2,486	7,678	4,730	2,173	1,213	▲960
連単差	1,572	1,264	1,532	2,420	711	555	1,008	2,177	2,183	1,230	627	△603

\*1 10/5月連結子会社化 \*2 11/12月連結子会社化、現SMBCコンシューマーファイナンス

# 貸出金残高

## SMBC単体

### 貸出金残高の推移\*1



### 国内部門別貸出金残高(内部管理ベース)

(兆円、末残)	12/3月末	11/3月末比
個人部門	15.3	▲0.1 <sup>*2</sup>
法人部門 <sup>*3</sup>	16.6	▲0.5
企業金融部門	11.7	▲0.2

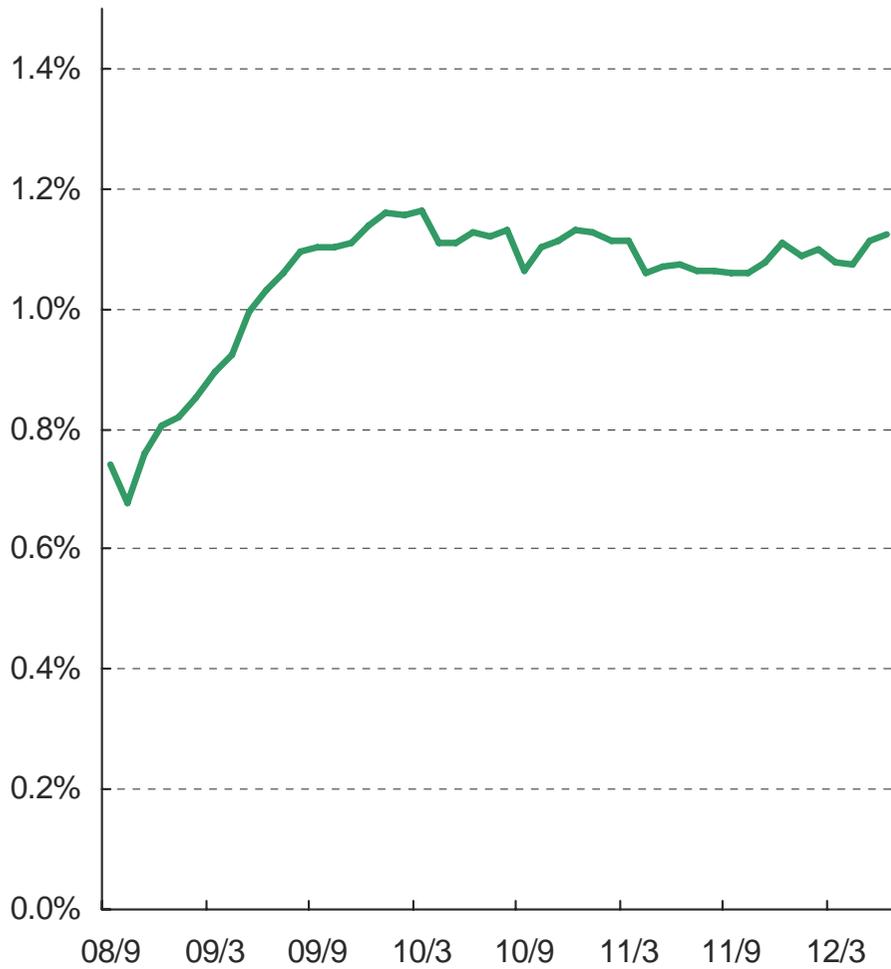
### 海外地域別貸出金残高\*4(内部管理ベース)

(兆円、末残)	12/3月末	11/3月末比	除く 為替影響
海外合計	10.5	+1.9	+2.1
(うち日系企業向け)	(2.8)	(+0.5)	(+0.6)
アジア	4.1	+0.9	+0.9
米州	3.1	+0.6	+0.7
欧州	3.3	+0.4	+0.5

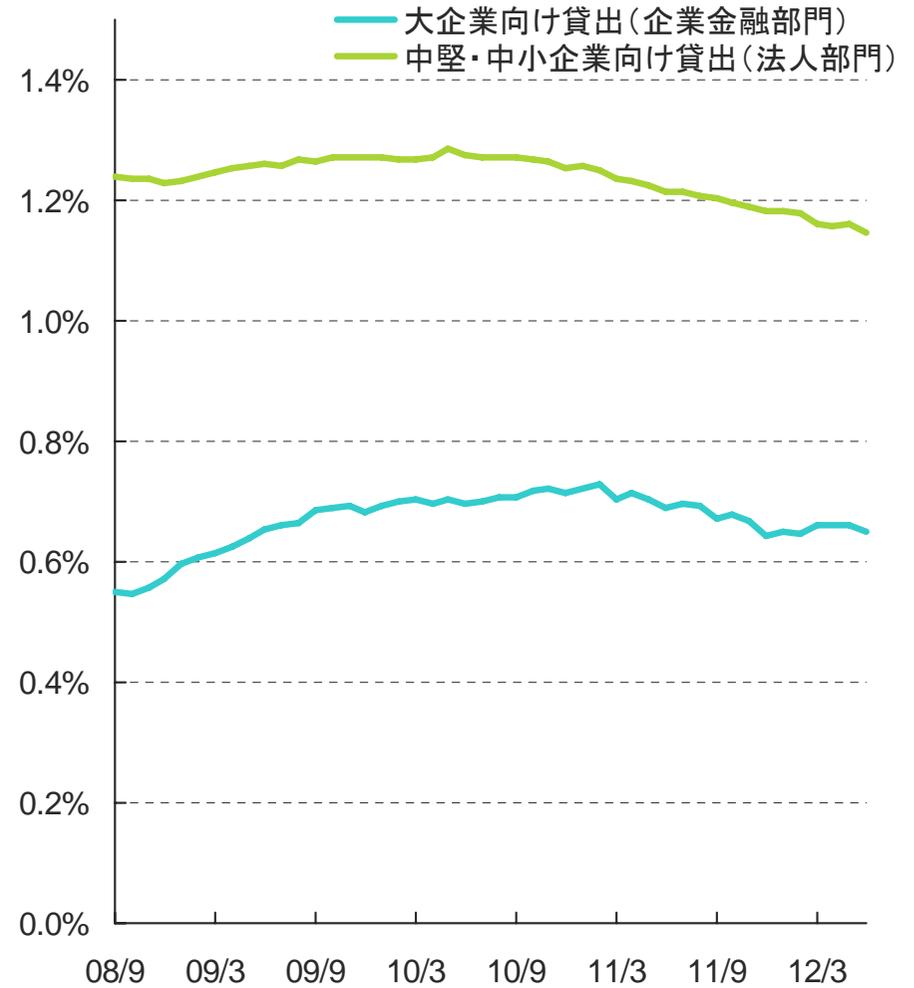
\*1 01/3月末は、旧さくら銀行・旧住友銀行の合算 \*2 11年度実施の住宅ローン証券化分の加算調整後(約800億円) \*3 交付税特別会計、預金保険機構等向け貸出を除く  
\*4 SMBC、欧州三井住友銀行・三井住友銀行(中国)の合算。拠点ベース。

# 貸出金スプレッド\*1

## 海外貸出金スプレッド\*2



## 国内貸出金スプレッド\*3



\*1 内部管理ベース。ストックベース。 \*2 SMBC、欧州三井住友銀行、三井住友銀行(中国)の合算 \*3 SMBC単体

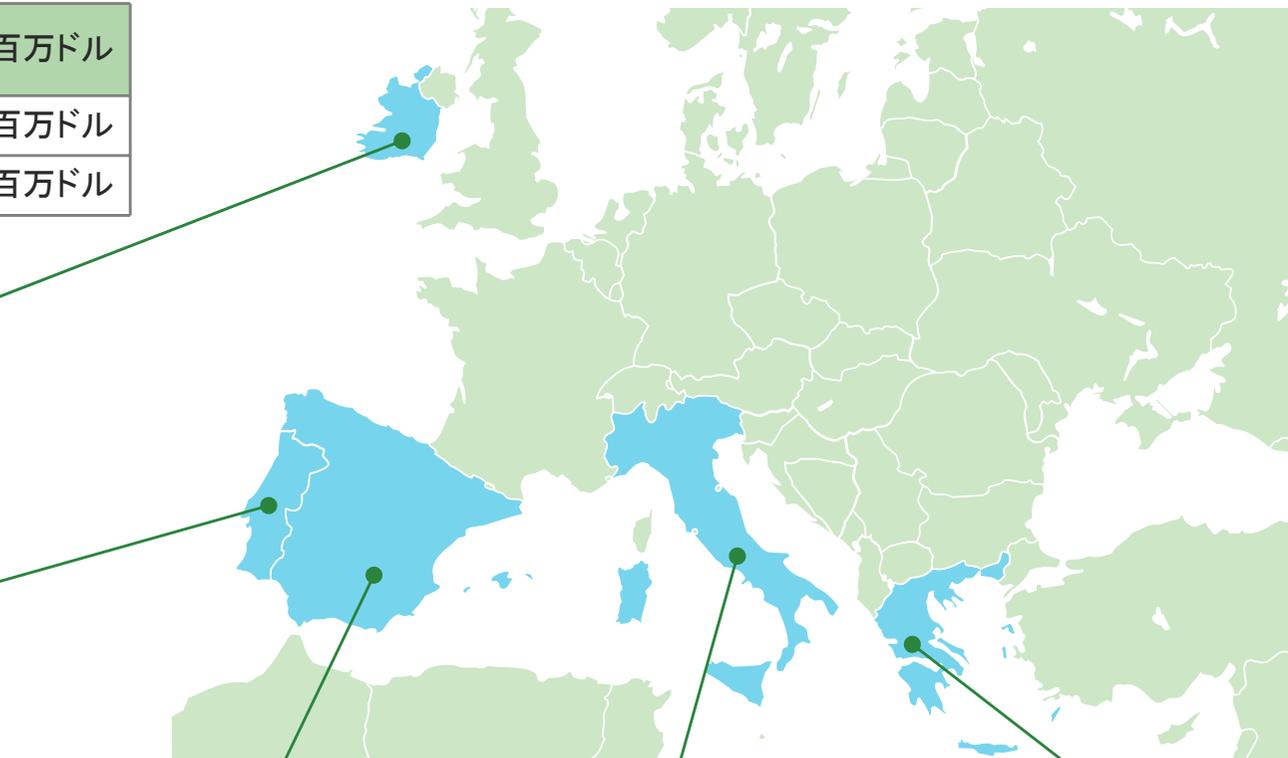
# GIIPS向けエクスポージャー

12年6月末のGIIPS向けエクスポージャー: 約72億ドル\*1

GIIPSの 国債保有残高*2	約4.3百万ドル
スペイン	約4.1百万ドル
イタリア	約0.2百万ドル

**アイルランド**  
約14億ドル\*1  
航空機リース

**ポルトガル**  
約0.5億ドル



**スペイン**  
約26億ドル\*1  
大企業向け、  
プロジェクトファイナンス

**イタリア**  
約29億ドル  
大企業向け、  
プロジェクトファイナンス

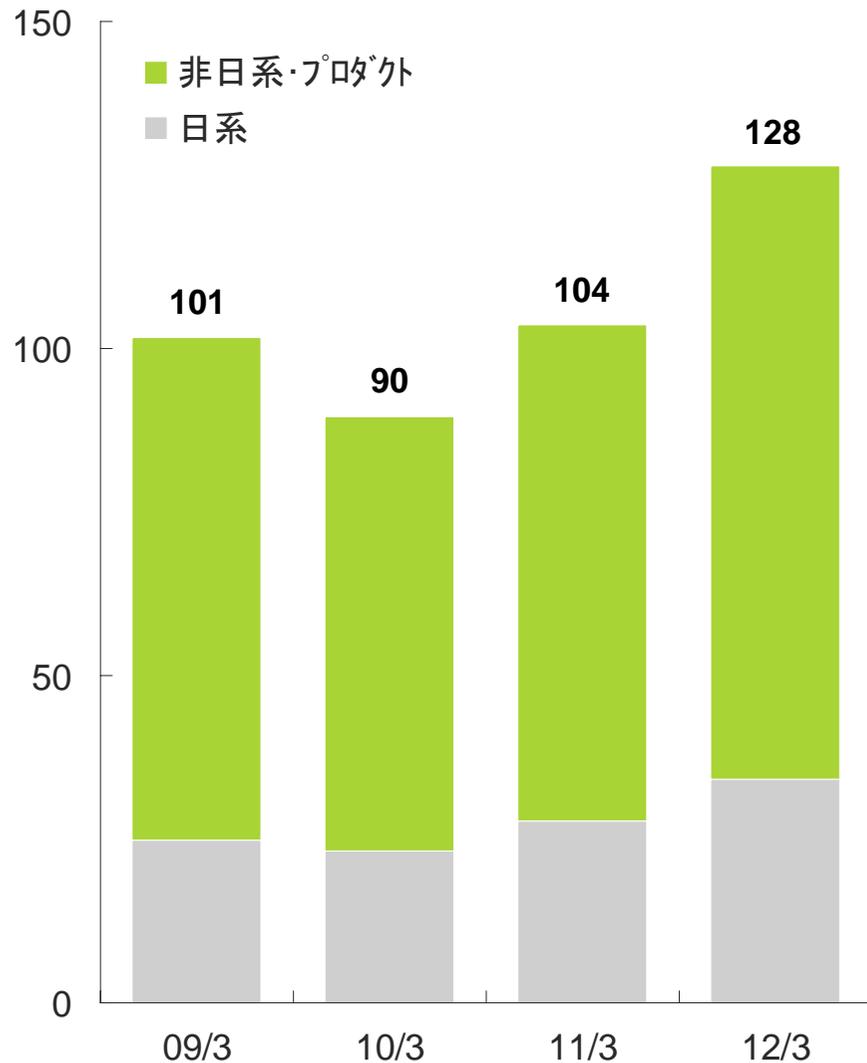
**ギリシャ**  
約2.4億ドル\*1  
航空機リース

\*1 うちSMBC Aviation Capital: アイルランド約10億ドル、スペイン約3億ドル、ギリシャ約1.8億ドルの計約14.8億ドル \*2 証券子会社がセカンダリー業務で保有

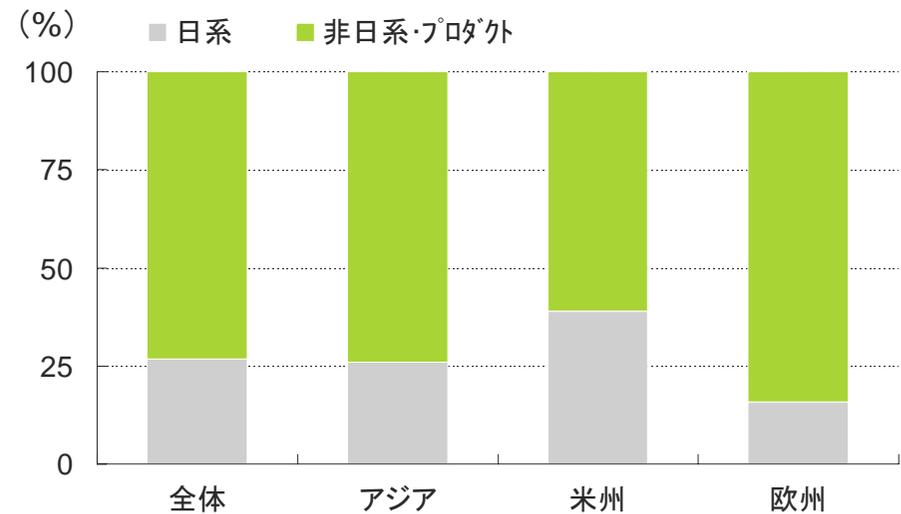
# 海外貸出金の顧客別構成\*

## 全体

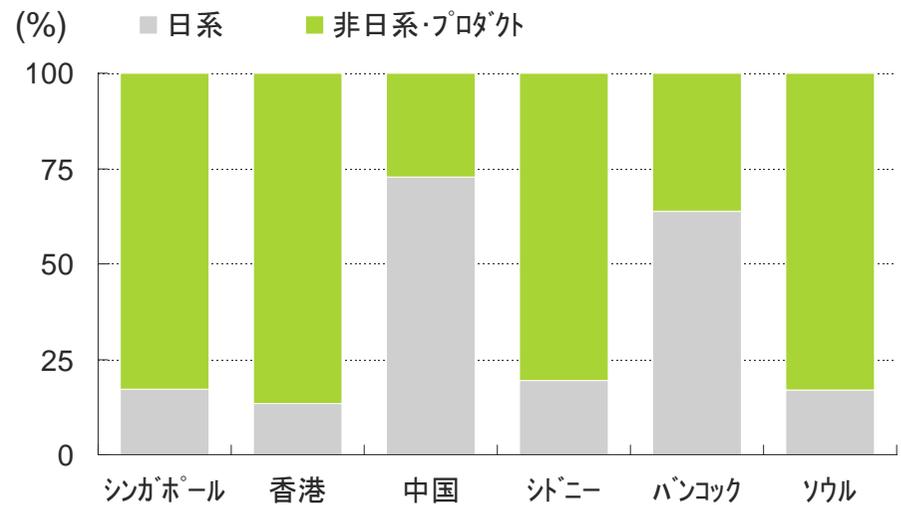
(10億米ドル)



## 地域別(12/3月末)



## アジア主要国(12/3月末)

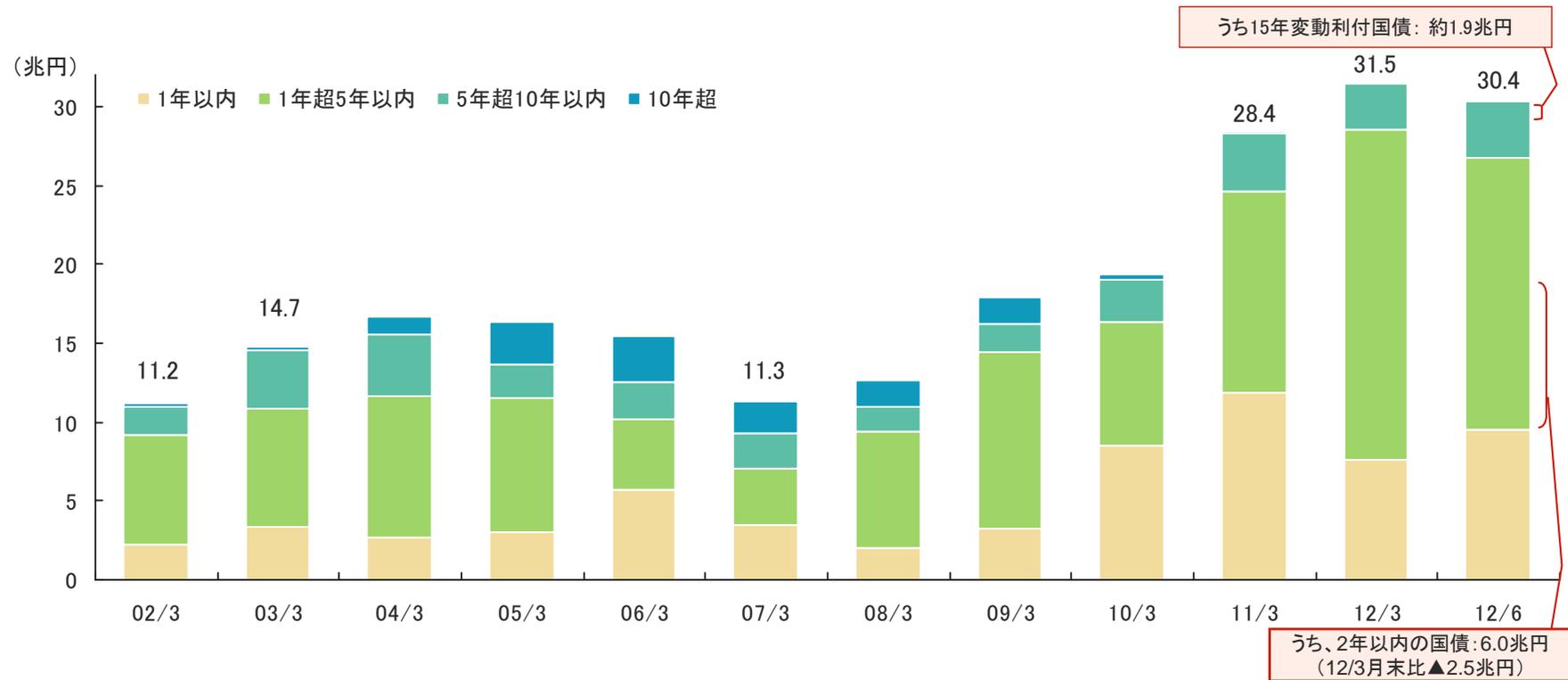


\* 内部管理ベース。SMBC、欧州三井住友銀行及び三井住友銀行(中国)の合算、拠点ベース

# 債券ポートフォリオ

## 円債ポートフォリオ残高

SMBC単体（その他有価証券のうち満期があるもの及び満期保有目的の債券：国債・地方債・社債の合計）



平均 デュレーション (年)*1	2.7	3.6	3.4	2.3	1.5	1.7	2.4	1.8	1.1	1.4	1.9	2.0
評価損益 (億円)*2	376	1,087	▲1,019	77	▲2,822	▲1,514	▲1,295	▲12	1,161	719	1,044	1,178

\*1 ヘッジ会計適用分・満期保有分を除く、私募債を含まず。15年変動利付国債のデュレーションはゼロで計算(02/3月末は国債ポートフォリオのデュレーション)  
\*2 09/3月末以降、15年変動利付国債は合理的な見積り価額を用いて評価

# ■ 資本・リスクアセット

## SMFG連結

(億円)	11/3月末 (a)	12/3月末 (b)	(b) - (a)
<b>Tier I</b>	<b>63,240</b>	<b>62,723</b>	<b>▲517</b>
ウチ 資本金・資本剰余金	33,167	30,977	▲2,190
[ウチ優先株]	[2,100]	[-]	[▲2,100]
ウチ 利益剰余金	17,028	20,844	+3,816
ウチ 海外特別目的会社の発行する優先出資証券	15,936	15,889	▲47
ウチ 為替換算調整勘定	▲1,229	▲1,414	▲185
ウチ 証券化取引に伴い増加した自己資本相当額	▲363	▲383	▲20
<b>Tier II</b>	<b>25,370</b>	<b>27,711</b>	<b>+2,341</b>
ウチ その他有価証券含み益の45%相当額	1,693	2,146	+453
ウチ 一般貸倒引当金	1,000	667	▲333
ウチ 永久劣後債務	2,430	1,492	▲938
ウチ 期限付劣後債務	19,672	23,049	+3,377
控除項目	▲4,281	▲3,996	+285
BIS自己資本	84,329	86,438	+2,109
リスクアセット	506,937	510,432	+3,495
<b>自己資本比率</b>	<b>16.63%</b>	<b>16.93%</b>	<b>+0.30%</b>
Tier I 比率	12.47%	<b>12.28%</b>	▲0.19%
コアTier I比率(完全実施時基準)	6%台前半	<b>7%台半ば</b>	+1%強
コアTier I比率(規制導入時基準)	8%強	<b>9%強</b>	+1%強
繰延税金資産純額	6,242	3,502	▲2,740

## Tier I

- ① 第六種優先株式の取得及び消却(2011年4月1日付) ▲2,100億円
  - ② 連結当期純利益 + 5,185億円
  - 配当 ▲1,387億円
- 繰延税金資産の対Tier I比率(SMFG連結):  
12/3月末:5.6%(11/3月末比 △4.3%)

## Tier II

- ③ 永久劣後債務償還 ▲938億円
- ④ 国内劣後債調達(SMBC) +3,960億円

## リスクアセット

(億円)	11/3月末	12/3月末	11/3月末比
⑤ 信用リスクアセットの合計額	464,186	459,765	▲4,420
④ マーケットリスク相当額	5,840	11,742	+5,902
(参考)アウトライヤー比率*2	7.8%	2.6%	▲5.2%
⑤ オペレーショナルリスク相当額	36,911	38,925	+2,014
合計	506,937	510,432	+3,495

海外ビジネスの強化に加え、プロミス連結子会社化影響(約9,000億円)もあった一方、国内与信減少を背景に減少

バーゼル2.5開始によるストレスVaR導入影響(約4,000億円)

\*1 コアTier I比率はバーゼルIIIベース。それ以外はバーゼルIIベース(信用リスク:先進的内部格付手法、オペレーショナルリスク:先進的計測手法) \*2 SMBC連結ベース

# ■ 資本政策、株主還元

## 資本政策

### 普通株式等 Tier1 資本 (コアTier I 資本\*1)

- 内部留保の蓄積により、2014年3月末時点でコアTier I比率8%程度の達成を目指す
- バーゼルⅢ導入によるリスクアセット増加影響は、2012年3月末のリスクアセット対比、10%程度に留まる見込み

### その他 Tier1 資本

- バーゼルⅢ導入以降も資本算入が認められる、経過措置対象となる優先出資証券が大半
- 従って、バーゼルⅢ適格のその他Tier1証券は当面発行不要

### Tier2 資本

- 経過措置対象となる劣後債務が大半
- 2012年度までは従来型の劣後債\*2の発行も可能

## 自己株式

- SMFG保有の自己株式 : 3.8百万株\*3
- SMBC保有のSMFG株式:56.2百万株\*3
- (プロミス完全子会社化に伴う株式交換等によるもの)

## 株主還元

- 12年度配当予想:100円
- 連結配当性向20%超(11年度:26.8%、12年度予想:29.4%)

	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度 予想
1株当たり 配当金額 (円)*4,5	120	90	100	100	100	100
連結配当 性向(円)*4	20.5%	-	46.8%	29.1%	26.8%	29.4%
1株当たり 純資産*5 (円、期末)	4,245.46	2,790.27	3,391.75	3,533.47	3,856.37	
ROE*6	12.3%	-	7.5%	9.9%	10.4%	

## 13年度中に任意償還日が到来する優先出資証券

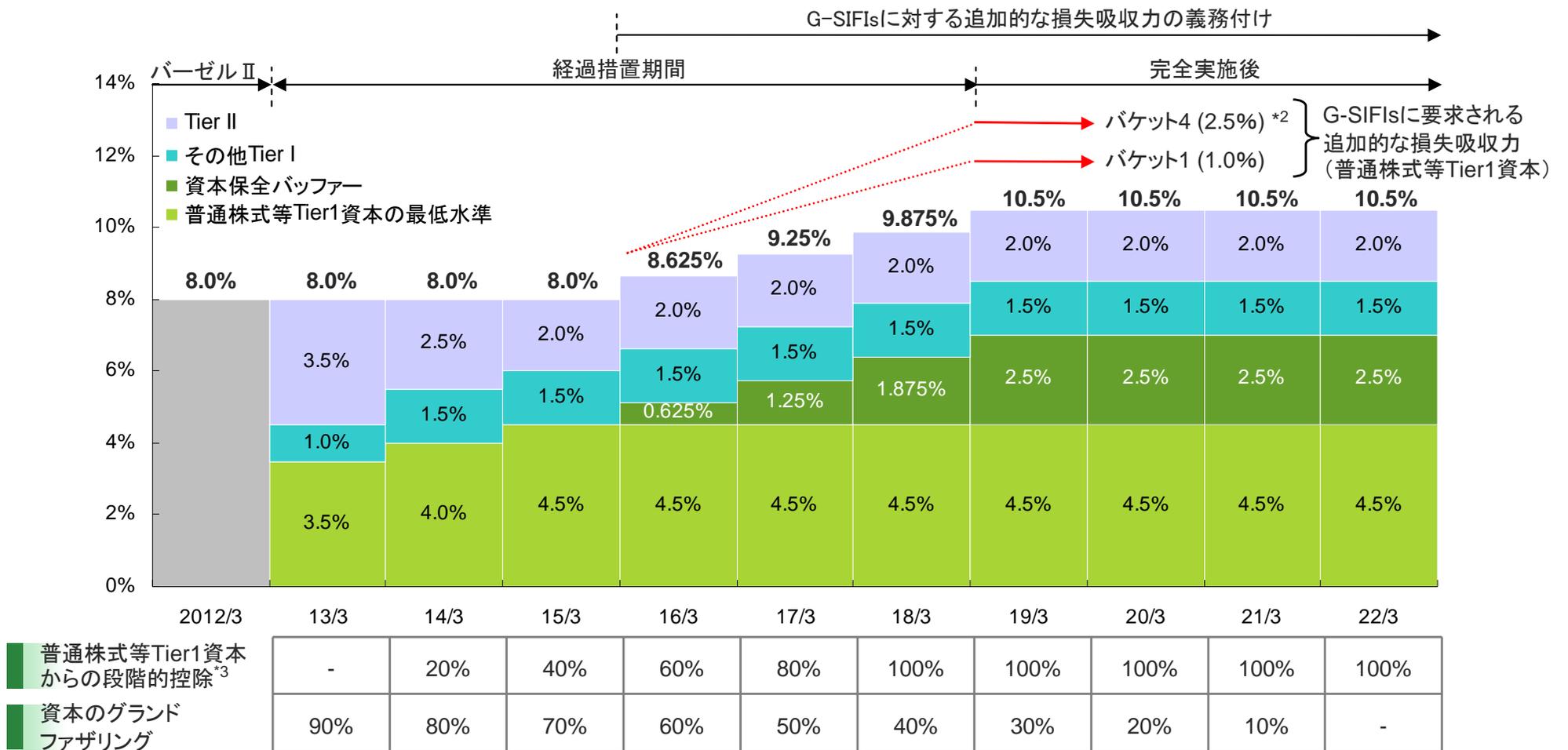
	発行時期	発行総額	配当率*7	任意償還*8	ステップ アップ
SMFG Preferred Capital USD 2 Limited	2008年5月	1,800百万米ドル	8.750%	2013年7月 以降	なし
SMFG Preferred Capital JPY 2 Limited					
シリーズD	2008年12月	1,452億円	4.760%	2014年1月 以降	なし
シリーズG	2009年1月	1,257億円	4.650%	2014年1月 以降	なし

\*1 バーゼルⅢの普通株式等Tier1資本のこと \*2 バーゼルⅡベースの劣後債のうち、満期一括償還型やノンコール期間5年以上でステップアップ条項なしのものなど、バーゼルⅢにおいて経過措置の対象となるもの  
 \*3 2012年4月1日付のプロミス完全子会社化に伴う株式交換反映後 \*4 普通株式のみ \*5 2009年1月4日付で実施した株式分割(1株につき100株の割合をもって分割)が07年度期首に行われたと仮定した場合の計数を記載  
 \*6 株主資本ベース \*7 SMFG Preferred Capital JPY 2 Limitedの任意償還日以降の配当率は変動配当率 \*8 金融庁の事前承認を前提に、各配当支払日に任意償還可能

# ■ 新たな自己資本規制の概要

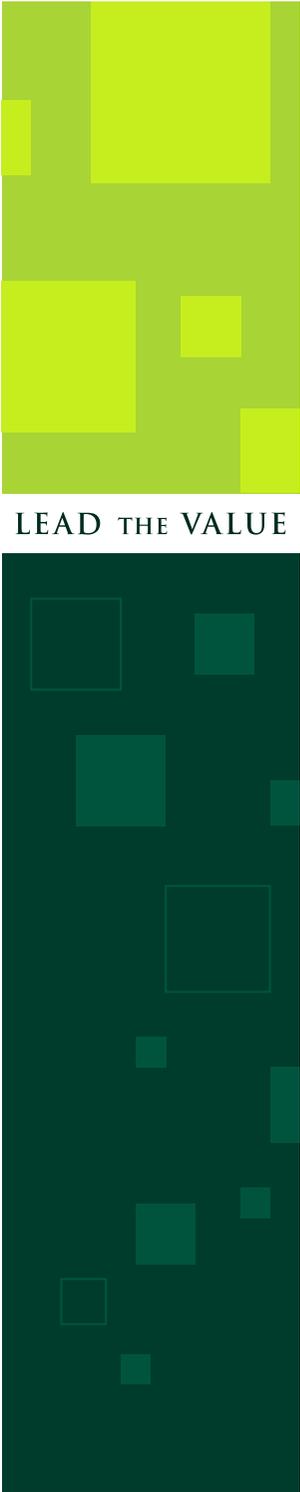
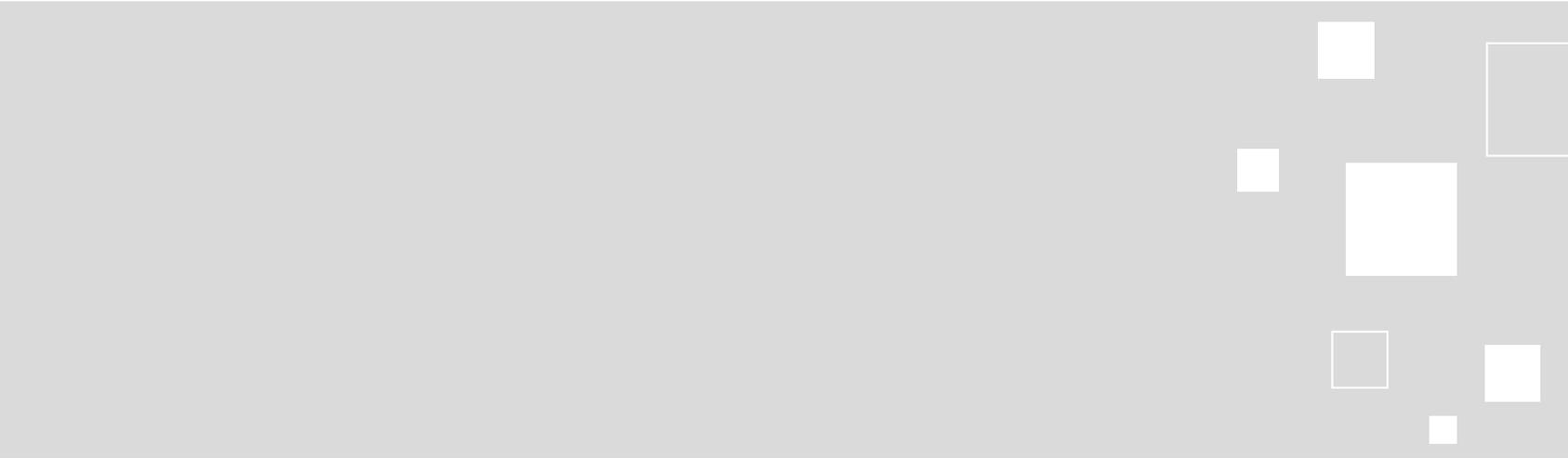
2012年3月、金融庁が自己資本比率規制(第1の柱)に関する告示を一部改正\*1

- ✓ バーゼルⅢテキストで公表された内容を反映
- ✓ 邦銀の決算期に合わせて2013年3月末から適用



\*1 2014年以降に適用が予定される他の規制(資本保全バッファー、流動性規制など)に関する告示案は、今後公表される見込み。

\*2 この他、バケット5(3.5%)として、システム上の重要性の程度を更に増す意欲を抑制するための空バケット有り \*3 繰延税金資産、モーゲージ・サービシング・ライツ及び金融機関に対する出資を含む



本資料には、当社グループの財政状態及び経営成績に関する当社グループ及びグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与えるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合併事業・提携・出資・買収及び経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスク、不良債権残高及び与信関係費用の増加、保有株式に係るリスクなどです。こうしたリスク及び不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものをご参照ください。

LEAD THE VALUE